

かんゆう

K A N Y U U



2026年 6月20日(土) 専門学校校友会総会・懇親会

2026年 7月4日(土) 大学校友会総会



CONTENTS

会長ごあいさつ

関西医療学園専門学校校友会	P 1
関西医療大学校友会	P 2

事業報告・計画

専門学校校友会	P 3・4
大学校友会	P 5・6

ごあいさつ

関西医療学園理事長 武田 大輔	P 7
-----------------	-----

部会報告

専門学校 東洋医療部会	P 8～12
専門学校 柔整部会	P13・14
専門学校 理学療法部会	P15～19
専門学校 歯科衛生部会	P20
大学 鍼灸部会	P21・22
大学 理学療法部会	P23・24
大学 ヘルスプロモーション部会	P25
大学 看護部会	P26
大学 臨床検査部会	P27
大学 作業療法部会	P28・29

総会案内

専門学校校友会	P30・31
大学校友会	P32

学術

合同学術研修会	P33・34
専門学校校友会	P35～37
大学校友会	P38・39

ゴルフコンペ

賛助金

学園コーナー

新校友の声

同窓会

校友会からのお知らせ

関西医療学園専門学校校友会



関西医療学園専門学校校友会
会長

明比 大

(鍼灸短大5期生・専門学校理学療法学科2期生)



会長ごあいさつ

関西医療学園専門学校校友会（以下、校友会）の会員の皆さま、平素、校友会活動にご理解とご協力賜り、誠にありがとうございます。

校友会は、卒後教育として学術研修会の企画、運営、同窓会開催の補助、ゴルフコンペの企画など、卒業生や学生が集まれるきっかけの場を提供しています。また将来、鍼灸師、あん摩マッサージ指圧師、柔道整復師、理学療法士、歯科衛生士の資格を取得したいという高校生やセカンドキャリアを考えている方に、母校を紹介する取り組みを行っています。

さて昨年度、校友会が企画した大学校友会との合同学術研修は、卒業された歯科衛生部会の一期生の方にも参加し易いテーマを選び、11月9日（日）に専門学校の大ホールにおいて、歯科医師の林 宏和先生による「摂食嚥下障害の理解と予防」と歯科衛生士の向所真由美先生による「ベロヨガについて」を勉強しました。ベロヨガは口の機能改善のみならず、小顔、二重顎、姿勢の改善などに効果があり、歯科衛生士のみならず鍼灸師や柔整師、理学療法士にとっても興味のある内容で、多くの方が参加され多職種と交流できる良い機会でした。また会場で業者による機器展示を実施したり、大学は学園祭開催日であり、学園祭に来られた方がオンラインで受講できるようにするなど、新しいことにも挑戦しました。

また各部会では専門性に特化した勉強会を企画していますので、多くの方々の参加をお待ちしております。もし、自分が所属している部会以外で興味のある勉強会があれば、参加していただいても結構です。積極的に自己研鑽を積み重ね、先輩後輩との再会、他の専門職との交流を深めて頂けたら幸いです。

1957（昭和32）年開校の関西医療学園専門学校は来年70周年を迎えます。開校翌年（1958年）に設置された校友会は70年目を迎えます。校友会では来年（2027年）7月10日（土）にスイスホテル南海大阪において「学校法人関西医療学園、関西医療学園専門学校校友会設立70周年記念祝賀会（仮称）」を開催します。16時30分から国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所理事長の中村祐輔先生（東京大名誉教授）をお招きして基調講演（テーマ未定）、18時30分から祝賀会開宴の予定です。

同級生、先輩後輩をお誘いの上、参加していただき、会員の皆さまとお会いできることを楽しみにしています。また、祝賀会終了後の二次会を利用して、同窓会を開催することも可能です。一定の条件はありますが、校友会から同窓会開催の補助金の支給や同級生への案内をさせていただきますので、一度、校友会事務局へお問い合わせください。

今後とも校友会の活動に、ご理解とご協力の程、よろしくお願いいたします。

校友会の情報や研修会の案内は、校友会ホームページや公式LINEにて定期的に配信していますのでお見逃しの無いよう、またLINE登録もお願いします。

校友会公式ライン→



関 西 医 療 大 学 校 友 会

関西医療大学校友会
会長坂口 俊二
(鍼灸短大3期生)

会長ごあいさつ

関西医療大学校友会会員の皆様におかれましては、平素より校友会活動に対し格別のご理解とご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

本校友会は、関西医療学園専門学校校友会との分離から5年目を迎えました。この間におきましても、同校友会の皆様には多大なるご支援を賜り、共同事業や合同学術研修会などを継続して開催できておりますことに、深く感謝申し上げます。また、校友の皆様からは毎年温かいご寄附を頂戴しており、これらのご厚情が校友会活動の大きな支えとなっております。改めて厚く御礼申し上げます。こうした継続的なご支援の積み重ねこそが、校友会の歩みを確かなものとしていけると実感しております。

これまでの4年間、校友会では6つの部会がそれぞれの専門性を活かした独自の活動を展開し、在学生への支援にも積極的に取り組んでまいりました。さらに、部会間での共催企画も徐々に広がりを見せ、組織としての一体感の醸成にもつながっております。一方で、部会ごとの活動状況には差が見られ、その幅に格差が生じている点は、今後の重要な課題として認識しております。昨年より学園祭が週末開催に戻ったことは、校友会活動にとって新たな機会であり、この機会を活かして事業のさらなる充実と参加の拡大を図ってまいりたいと考えております。また、より多くの校友が気軽に参画できる仕組みづくりも進めてまいります。

本年5月からは新体制がスタートいたしました。現在、6学科すべてに卒業生が教員として在籍しているという強みを活かし、理事として校友会運営に積極的に関わっていただく体制を一層強固なものとしてまいります。校友、在学生、そして教員の三者をつなぐ架け橋としての役割をより明確にし、相互の連携を深めていく所存です。加えて、教育現場と臨床現場をつなぐ視点からも、校友会の果たす役割は一層重要になるものと考えております。

また、昨今の財政状況の厳しさを踏まえ、新規会員の増加は喫緊の課題であります。校友会としての努力はもとより、大学にも前向きなご協力をお願いしながら、持続可能な運営基盤の確立を目指してまいります。そのためには、校友会の存在意義や活動内容をいかに効果的に伝えていくかが重要であり、併せて校友間の連絡網の整備・強化にも取り組んでいく必要があると考えております。情報発信の手法についても時代に即した見直しを進めてまいります。

今後とも、校友会が会員の皆様にとって有意義で魅力ある組織であり続けるよう努めてまいりますので、引き続きご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

以下に校友会公式LINEのQRコードを掲載しております。専門学校校友会も含め、リアルタイムで情報を発信してまいります。内容によっては、ホームページにて詳細をご確認いただけます。ぜひご登録ください。

校友会公式ライン→



関西医療学園専門学校校友会 2025(令和7)年度 事業報告

自 2025(令和7)年4月1日

至 2026(令和8)年3月31日

2025(令和7)年

- 4月2日 東洋・理学新入生ガイダンス
- 4月3日 第1回広報委員会 ZOOM
- 4月4日 関西医療大学入学式にお祝いの品贈呈
- 4月5日 専門学校入学式に会長・部会長出席 お祝いの品贈呈 於：関西医療学園専門学校
- 4月21日 歯科新入生ガイダンス
- 4月28日 第1回合同財務委員会・監査(税理士参加)
- 5月1日 柔整新入生ガイダンス
- 5月7日 第1回専門財務委員会(追加) ZOOM
- 5月11日 東洋医療部会 学術研修会 於：関西医療学園専門学校5階大ホール
- 5月21日 第1回理事会 ZOOM
- 6月1日 会報「かんゆう」第38号発行
- 6月7日 新役員交流会 於：和食・鮮魚 輪だち 寅屋難波店
- 6月7日 理学療法部会 ミニ勉強会① 於：専門学校別館
- 6月18日 第2回理事会 ZOOM
- 6月21日 代議員会 於：関西医療学園専門学校別館 201教室およびZOOM
- 7月12日 関西医療学園専門学校校友会総会・懇親会 於：道頓堀ホテル
- 7月16日 理学療法部会 ミニ勉強会② 於：専門学校別館
- 7月29日 第1回専門校友会・大学校友会 合同理事会 ZOOM
- 8月2日 理学療法部会 ミニ勉強会③ 於：専門学校別館
- 8月24日 東洋医療部会 学術研修会 於：関西医療学園専門学校5階大ホール
- 9月4日 第2回専門財務委員会 ZOOM
- 9月13日 理学療法部会 学術研修会 於：関西医療学園専門学校別館
- 9月21日 柔整部会 学術研修会 於：関西医療学園専門学校別館
- 9月15日 米寿会員(12名)へのお祝い品贈呈
- 10月1日 第3回理事会 ZOOM
- 10月20日 第2回合同財務委員会 於：校友会室
- 10月30日 第3回合同財務委員会 (税理士参加) ZOOM
- 11月9日 関西医療学園専門学校校友会 関西医療大学校友会 合同学術研修会
於：関西医療学園専門学校本館大ホールおよびZOOM
- 11月16日 校友会主催 ゴルフコンペ 於：泉佐野カントリークラブ
- 12月1日 学友会「迎随」広告に協賛
- 12月9日 第2回広報委員会 ZOOM
- 12月13日 東洋幹事会 於：校友会室
- 12月14日 東洋医療部会 学術研修会 於：関西医療学園専門学校5階大ホール
- 12月15日 第4回理事会 ZOOM
- 1月29日 第4回合同財務委員会(税理士参加) ZOOM
- 1月31日 校友会新年会 臨時代議員会 於：都シティホテル大阪天王寺
- 3月7日 関西医療学園専門学校卒業式に会長・部会長出席 表彰：卒業記念品贈呈
- 3月13日 関西医療大学卒業式にお祝いの品贈呈
- 3月13日 新役員交流会 於：牡蠣とかはまぐりとか 貝賊
- 3月17日 第5回理事会 ZOOM
- 3月29日 校友会主催 ゴルフコンペ 於：関西ゴルフ倶楽部

関西医療学園専門学校校友会 2026(令和8)年度 事業計画

自 2026(令和8)年4月1日

至 2027(令和9)年3月31日

2026(令和8)年

- 4月2・3日 新入生ガイダンス
- 4月3日 関西医療大学入学式にお祝いの品贈呈
- 4月4日 専門学校入学式に会長・部会長出席 お祝いの品贈呈 於：関西医療学園専門学校
- 4月23日 第1回財務委員会・監査(税理士参加) ZOOM
- 4月26日 東洋医療部会 学術研修会 於：関西医療学園専門学校5階大ホール
- 5月8日 第1回理事会 ZOOM
- 5月17日 理学療法部会 ミニ勉強会① 於：専門学校別館
- 5月23日 新入生歓迎会 於：長居公園
- 6月1日 会報「かんゆう」第39号発行
- 6月7日 新役員交流会 於：
- 6月 第2回理事会
- 6月6日 代議員会 於：関西医療学園専門学校別館 201教室およびZOOM
- 6月20日 関西医療学園専門学校校友会総会・懇親会 於：道頓堀ホテル
- 7月4日 理学療法部会 ミニ勉強会② 於：専門学校別館
- 8月 第2回財務委員会(税理士参加)
- 8月24日 東洋医療部会 学術研修会 於：関西医療学園専門学校5階大ホール
- 8月30日 柔整部会 学術研修会 於：関西医療学園専門学校別館4階 総合実習室
- 9月 専門学校四部会合同 学術研修会 SNSの活用(仮) 於：関西医療学園専門学校本館
- 9月 米寿会員へのお祝い品贈呈
- 9月 第3回理事会
- 11月15日 関西医療学園専門学校校友会 関西医療大学校友会 合同学術研修会
於：関西医療大学診療・研修棟4階ホール(予定)
- 12月20日 東洋医療部会 学術研修会 於：関西医療学園専門学校5階大ホール

2027(令和9)年

- 1月 第3回財務委員会(税理士参加)
- 1月 専門学校教職員・校友会新年会
- 3月12日 関西医療大学卒業式にお祝いの品贈呈
- 3月13日 関西医療学園専門学校卒業式に会長・部会長出席 表彰：卒業記念品贈呈
- 3月 第4回財務委員会(ZOOM会議)
- 3月 第4回理事会

関西医療大学校友会 2025(令和7)年度 事業報告

自 2025(令和7)年4月1日

至 2026(令和8)年3月31日

2025(令和7)年

- 4月3日 第1回 合同広報委員会 (ZOOM会議)
- 4月4日 令和7年度関西医療大学入学宣誓式に会長出席 於：スターゲイトホテル関西エアポート
- 4月5日 関西医療学園専門学校入学式にお祝いの品贈呈
- 〃 関西医療大学新入生オリエンテーションに会長出席
(はり灸・スポーツトレーナー学科、理学療法学科、ヘルスプロモーション整復学科、
保健看護学科、臨床検査学科、作業療法学科)
- 4月28日 第1回 合同財務委員会 (ZOOM会議) ・税理士参加
- 5月15日 第1回 理事会 (ZOOM会議)
- 5月17日 役員交流会 於：SORAIRO KITCHEN in TENSHIBA
- 6月1日 会報「かんゆう」第38号発行 (ホームページ)
- 7月5日 関西医療大学校友会総会 於：関西医療大学2号館2階 A21講義室・ZOOM
- 7月24日 第2回 理事会 (ZOOM会議)
- 7月29日 第1回 合同理事会 (ZOOM会議)
- 8月16日 第1回 在校生相談会 オンライン開催 (作業療法部会)
- 8月26日 第1回 卒業生講演会 オンライン開催 (理学療法部会)
- 10月20日 第2回 合同財務委員会 於：関西医療学園専門学校校友会室
- 10月30日 第3回 合同財務委員会 (ZOOM会議) ・税理士参加
- 11月5日 第3回 理事会 (ZOOM会議)
- 11月8・9日 関西医療大学関医祭への援助
- 11月8日 大学校友会・JICA日系研修南米部会・大学国際交流部門とのコラボレーション企画
於：関西医療大学4号館2階ラーニングコモンズ・ZOOM
- 〃 第1回 学術研修会・交流会 (鍼灸部会)
於：関西医療大学4号館2階ラーニングコモンズ
- 11月9日 関西医療大学校友会・関西医療学園専門学校校友会 合同学術研修会
於：関西医療学園専門学校講堂5階大ホール・ZOOM
- 11月30日 第2回 特別講演会 ハイブリッド開催 (理学療法部会)
- 〃 第2回 特別講演会 ハイブリッド開催 (作業療法部会)
- 12月9日 第2回 合同広報委員会 (ZOOM会議)

2026(令和8)年

- 1月14日 第4回 理事会 (ZOOM会議)
- 1月25日 第1回 学術研修会 (ヘルスプロモーション部会) 於：関西医療大学B32教室
- 1月29日 第4回 合同財務委員会 (ZOOM会議) ・税理士参加
- 1月31日 専門学校校友会臨時代議員会にオブザーバーとして会長出席
- 〃 専門学校校友会新年会 会長・理事出席
- 3月7日 関西医療学園専門学校卒業式にお祝いの品贈呈
- 3月13日 令和7年度関西医療大学学位記授与式に会長出席
- 3月25日 第5回 理事会 (ZOOM会議)

関西医療大学校友会 2026(令和8)年度 事業計画

自 2026(令和8)年4月1日

至 2027(令和9)年3月31日

2026(令和8)年

- 4月3日 令和8年度関西医療大学入学式に会長出席 於：スターゲイトホテル関西エアポート
- 4月4日 関西医療大学校友会（鍼灸部会、理学療法部会、ヘルスプロモーション部会、
看護部会、臨床検査部会、作業療法部会）
新入生オリエンテーションに参加（校友会紹介、入会案内）
- 〃 関西医療学園専門学校入学式にお祝いの品贈呈
- 〃 第1回学術研修会 ～10周年記念集会～（臨床検査部会）
- 4月23日 第1回合同財務委員会・監査(税理士参加)
- 5月12日 第1回理事会
- 5月24日 第1回学術研修会（ヘルスプロモーション部会）
- 6月1日 会報「かんゆう」第39号発行（ホームページ）
- 6月14日 第2回学術研修会（ヘルスプロモーション部会）
- 6月 第1回卒業生講演会①（理学療法部会）
- 7月4日 総会（18：00～）於：関西医療大学2号館2階A21講義室・ZOOM開催
- 7月12日 第3回学術研修会（ヘルスプロモーション部会）
- 7月 第1回学術研修会（看護部会）
- 7月 第1回卒業生向け研修会（作業療法部会）
- 8月 第2回関西医療大学キャリアイベント「卒業生と語る会」を協賛にて開催（理学療法部会）
- 8月 第2回在校生（4年生）相談会（作業療法部会）
- 9月5日 同窓会（ヘルスプロモーション部会）
- 10月 第3回特別講演会（理学療法部会）
- 10月 第2回合同財務委員会(税理士参加)
- 10月25日 第4回学術研修会（ヘルスプロモーション部会）
- 11月14・15日 関医祭への援助
- 11月14日 校友会（鍼灸部会）×国際交流部門×キャリア支援課 合同事業
第1回学術研修会（鍼灸部会）
- 11月15日 関西医療学園専門学校校友会との合同学術研修会
- 11月29日 第5回学術研修会（ヘルスプロモーション部会）
- 12月 第1回学術研修会開催（ヘルスプロモーション部会）

2027(令和9)年

- 1月 第2回理事会
- 1月 第3回合同財務委員会（税理士参加）
- 1月 第4回卒業生講演会②（理学療法部会）
- 1月 第6回学術研修会（ヘルスプロモーション部会）
- 2月 第3回卒業生向け研修会（作業療法部会）
- 3月 各部会幹事会
- 3月12日 関西医療大学卒業式に会長出席
- 3月13日 関西医療学園専門学校卒業式にお祝いの品贈呈
- 3月 第3回理事会

ごあいさつ

関西医療学園
理事長

武田 大輔



校友の皆様には、日頃よりお元気でご活躍のこととお慶び申し上げます。平素より学術研修会や各種イベントを通じて学園を力強く支えていただき、心より感謝申し上げます。

令和7年は大阪・関西万博の開催により地域全体が大いに賑わいを見せましたが、学校を取り巻く環境は、少子化の進行や私立学校法の改正など大きな変化に直面し、対応に苦慮する一年でもありました。そのような状況下においても、校友の皆様からの温かいご支援に支えられ、令和7年度も専門学校・大学ともに学内外の行事を滞りなく実施できましたことを大変嬉しく感じております。

まず専門学校では、第46回東洋療法学校協会学術大会において在校生が5年連続で優秀賞を受賞する快挙を成し遂げました。また、全国柔道整復学校協会第58回柔道大会では、校友の皆様の応援も受け、団体で準優勝という素晴らしい成果を挙げました。さらに、昨年度は悔しい結果となった柔道整復学科の新卒国家試験合格率が今年は100%を達成し、歯科衛生学科も2年目にして全員合格を果たしました。これらは皆様からの叱咤激励の賜物であり、深く感謝申し上げます。

大学においては、学園祭を従来の土日開催に戻し、多くの企画が実施され、校友の皆様にもご参加いただき大いに盛り上がりました。公開講座をはじめ、附属保健医療施設での日々の診療・施術や各種保健系イベントの開催により、地域の皆様からの認知と信頼も年々高まっております。国家試験では各学科が全国平均を上回り、柔道整復師、臨床検査技師、助産師の新卒合格率100%を達成しました。ヘルスプロモーション整復学科では、入学志願者のニーズに応えるため、令和8年4月より日本スポーツ協会公認アスレチックトレーナー資格取得に対応した新カリキュラムを整備しております。大学院では定員を大幅に超える入学者を迎え、令和7年4月より伊東新学長のもと外部資金獲得にも注力し、研究体制のさらなる充実が進んでいます。

私自身、各種業界団体の懇親会や学会で校友の皆様とお会いする機会も多く、温かいお声がけをいただくたびに、積み重ねてきた歴史と皆様のご支援の大きさを改めて実感し、大きな励みとなっております。

AIの進展により他校の広報活動は華やかに見える面もありますが、医療技術を学ぶ教育機関として、誠実で真摯な教育を行うことこそが重要であると考えております。そのうえで、変化の激しい社会のニーズに応えるため教育内容の改善を進め、「選ばれる学校」「選んで良かったと思っただけの学校」を目指してまいります。校友の皆様からのご紹介による入学生も多く、また皆様の日々の臨床でのご活躍に触れて本学を志望する学生も増えており、これは何よりの学校評価であり大変嬉しく感じております。インターネット上ではあらゆる情報が真実のように見えてしまう現在において、卒業生の皆様のご活躍やご紹介に勝る学生募集広報はありません。広報のみならず、学校と校友の皆様との相互発展のため、学園と校友の皆様とのつながりをさらに強めていただき、建学の精神である「社会に役立つ道に生きぬく奉仕の精神」を体現する善き医療人を輩出できる学校であり続けられるよう、変わらぬご支援・ご協力を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

東 洋 医 療 部 会



東洋医療部会
会長

永橋 正人

(東洋医療学科53期生・柔道整復学科50期生)



部会長ごあいさつ

東洋医療部会会員の皆様、平素より校友会活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

東洋医療部会会長の永橋正人です。

東洋医療部会としては校友会員の皆様に、今まで以上により良いサービスの提供をしていきたいと思っております。

昨年度から再開した卒後研修を今年度も開催いたします。川崎勝巳先生に講師を依頼し、全10回の講義となっております。

また、今年度は2回の学術研修会を開催します。4月26日に川崎勝巳先生に講師を依頼し、1回目の学術研修会を開催いたしました。2回目は12月20日に中村真理先生による『今の顔面神経麻痺の鍼灸治療がわかる』を予定しております。今年度からの新たな取り組みとして、オンラインでも学術研修会に参加できるようにチャレンジしています。機器や配信方法にはまだ課題もありますが、遠方でなかなか参加できない会員の皆様にも参加して頂けるように今後も努めてまいります。

研修会の情報はホームページでもご確認して頂けますし、QRコードを読み込んでもらい東洋医療部会のオープンチャットにご参加して頂ければ、オープンチャットでも情報を発信しております。会員の皆様や学生さんにとっても非常に勉強になる内容となっておりますので、是非ともご参加ください。

最後に、関西医療学園専門学校校友会の益々の発展と、会員の皆様のご健勝とご多幸を祈念しまして私の挨拶とさせていただきます。

〈関西医療校友会 研修会情報オープンチャット〉

東洋医療部会では学術研修会などの案内を上記のオープンチャットにて発信しております。(ハガキでのご案内は今回で最後となります。)ぜひQRコードを読み取って頂き、ご参加ください。



東洋医療部会

2025年5月11日 東洋医療部会・大阪府鍼灸師会 合同学術研修会

講師：川崎針灸院 院長 川崎 勝巳先生

2025年5月11日（日）関西医療学園専門学校大ホールにて関西医療学園専門学校校友会東洋医療部会・大阪府鍼灸師会による合同学術研修会が開催されました。

今回は、川崎針灸院 院長 川崎 勝巳先生をお招きして「構造から考察する運動機能障害の鍼灸治療 上肢編～高齢者からトップアスリートまで～」と題しましてご講演を賜りました。鍼灸の第一線でご活躍され、いつもパワフルな川崎先生のご講演とあって、多くの先生方が本研修会に参加されました。

臨床現場で遭遇する症例を上肢に特化して座学から実技まで出し惜しみすることなくお伝え頂きました。

座学は、「進化過程」からスタートし、「構造と役割」「各部位の各論」「構造上の弱点」「上肢の障害」「治療とコンディショニング」と6項目に渡る濃密な内容、講師の川崎先生の抜群の講義パフォーマンスも絶好調で実に有意義な学術研修会でした。

後半の実技は、患者モデルを募集しての実践的内容で川崎先生の鍼灸人生で「現時点」ベストとされる実技を各症状ごとにご披露頂き、受講された先生方は食い入る様に見ておられました。川崎先生よりご教授頂いた内容を各々の先生が噛み砕き、そして自分なりに腑に落とし込み、臨床で実践し、自分流の施術法を完成しその後も進化させることが様々な症状で苦しんでおられる患者様を救うことができる方法であると考えます。

今回、大阪府鍼灸師会との初の合同学術研修会を企画させて頂きました。結果は、バタバタではありましたが、「大成功」だったと思っております。今後も年に1回程度は、鍼灸師会様はじめ各種団体とのコラボ企画なども考えていきたいと思っております。

最後に、ご多忙の中、本研修会に参加して頂いた先生方、誠にありがとうございました。この場を借りて厚く御礼申し上げます。



東洋医療部会

2025年8月24日 東洋医療部会 学術研修会

講師：康祐堂あけぼの漢方鍼灸院 院長 富田祥史先生

2025年8月24日（日）関西医療学園専門学校の大ホールにて、学術研修会が行われました。

今回は、康祐堂あけぼの漢方鍼灸院 院長 富田祥史先生をお招きし、「脳神経疾患、難治性整形外科疾患に対する頭皮鍼の可能性 ～山元式新頭鍼療法（YNSA）の臨床～」と題しましてご講演を賜りました。

座学では、頭皮鍼が様々な疾患に効果があることを海外の論文をあげ、いくつも紹介していただきました。

その中で私が印象に残っているものは、麻痺のリハビリテーションと併用して頭皮鍼療法を行うことで、行っていないのと比べ2年間で20%も脳麻痺を診断する数値が上昇すると仰っておられたことです。ぜひ日本のリハビリにも頭皮鍼療法を併用出来るようになればと強く思いました。

治療法は、独特の診断点を元に決められたポイントを探し、患者が圧痛を感じる場所に置鍼を行うというものです。これは患者の感覚（圧痛）を元にポイントを決めている為、治療効果が得られやすく誰もが行いやすい治療法だと仰っておりました。

テキストは、後半部分を記入式にしておられたので、後半になって眠たくてしっかりと聞けないという人が少なかったと感じました。素晴らしい心遣いを感じさせられました。

今回、先生方が会場の準備等を前日までに完璧に行ってくださいていた為、とてもスムーズに講演を行うことができました。今回も大成功だったと思っております。

最後に、ご多忙の中、本研修会に参加して頂きました先生方、誠にありがとうございました。この場を借りて厚く御礼申し上げます。



東洋医療部会

2025年12月14日 東洋医療部会 学術研修会

講師：二天堂鍼灸院 院長 中野 保 先生

2025年12月14日（日）関西医療学園専門学校大ホールにて関西医療学園専門学校校友会東洋医療部会による第3回学術研修会が開催されました。

今回は、二天堂鍼灸院 院長 中野 保先生をお招きして「あらゆる疾患に応用できる鍼灸治療の組み立て方～鍼灸師の為のABC理論～」と題しましてご講演を賜りました。関西の「深刺治療のパイオニア」である中野先生のご講演とあって、多くの先生方が本研修会に参加されました。

座学は、解剖学・生理学を交えてのほとんどまで探究された、まさに「腑に落ちる」内容で、特に「治療に対する理論」はかなり深い内容でした。中野先生の「だから針は効く」を実証する内容で参加された先生方も興味深く受講されました。

後半の実技は、ターゲットの筋、特に深部筋への刺針方法・注意点などを細かくご教授頂き、受講された先生方は食い入る様に見ておられました。大腰筋含めインナーマッスルへのアプローチを教えていただく機会は滅多にないので、今回貴重な体験をさせて頂きました。中野先生よりご教授頂いた内容を各々の先生が噛み砕き、そして自分なりに腑に落とし込み、臨床で実践し、自分流の施術法を完成しその後も進化させることが様々な症状で苦しんでおられる患者様を救うことができる方法であると考えます。

最後に、ご多忙の中、本研修会に参加して頂いた先生方、誠にありがとうございました。この場を借りて厚く御礼申し上げます。



東洋医療部会

卒業後研修のお知らせ

治療技術の向上を目指す鍼灸師に対して、卒業後研修を開催いたします。

受講を希望される方は下記の要領でご応募下さい。

講師：川崎勝己 先生「卒業生のための実践臨床研修会」

要申込

1/31迄

卒業後研修

受講者募集！

回数	日程			講義内容
第1回	5月	16日	土	下肢の治療とムーブメントの修正
第2回	6月	6日	土	関節の構造から考察する膝関節の治療
第3回		20日	土	腰痛の鑑別と筋筋膜性腰痛
第4回	7月	4日	土	頸部・胸郭出口の治療
第5回		18日	土	ヒトの進化と関節の構造から考える肩関節の治療
第6回	8月	1日	土	心の治療
第7回	9月	5日	土	肩こり、冷え性等 日本人特有の症状
第8回		19日	土	消化器疾患の治療
第9回	10月	3日	土	産婦人科疾患・小児鍼
第10回		17日	土	その他（リウマチ・喘息・頭痛・肋間神経痛・顔面神経麻痺等々）の鍼灸適応症の治療

13:30～16:30

関西医療学園専門学校内

講習費：40,000円（全10回分）

応募資格：本校専門学校卒業生

応募期限：令和8年1月31日

応募方法：google forms

講師：川崎勝己先生

こちらより
申込み↓

お問い合わせは、以下メールアドレスより

担当：東洋医療部会 中越

nakakoshi@kansai-iryo.jp

※応募多数の場合は選考とさせていただきます。

柔 整 部 会

柔整部会
会長

一谷 勇一郎

(柔道整復学科44期生)



部会長ごあいさつ

皆様、本日は関西医療学園専門学校校友会柔整部会の活動にご尽力頂き、心より感謝申し上げます。

私たち柔道整復師の仕事は、日々の臨床の積み重ねです。評価はADL、日常生活動作の改善で示されます。歩けるようになる、立ち上がれるようになる、衣服の着脱が自立する。これは極めて重要な指標です。しかし、患者さんにとって本当に大切なのはQOL、人生の質です。再び旅行に行けること、孫と公園で遊ぶこと、痛みなく眠れる夜を取り戻すこと。ADLの向上は目的ではなく、QOLを高めるための手段です。この順番を私自身、改めて強く意識しております。

身体機能の回復は数字で示せますが、その先にある喜びや希望は数字では測れません。だからこそ私たちは、技術だけでなく、人として寄り添う姿勢を磨き続ける必要があります。生成AIなどの技術革新が進む時代においても、触れ、感じ、信頼を築く力は私たちの本質的価値です。

そしてもう一つ、大切な使命があります。それは母校である関西医療学園を未来へつなぐことです。柔整の価値を社会に発信し、その魅力を若い世代に伝え、志ある学生を一人でも多く学園へ迎える努力を続けていくこと。これは私たち校友の責任でもあります。

母校愛を胸に、臨床の質を高めながら、次世代を育てる土壌を共につくっていきましょう。柔整の仕事を通して人を幸せにする。その輪を広げていくのは、私たち一人ひとりの行動です。

最新技術で施術や介護、スポーツ現場をサポート

柔整部会では、施術所や通所介護、障害分野、スポーツ現場など、皆様が活躍されている現場で役立つ最新のツールをご紹介します。今回は、某トップ企業が監修し完成させた動画分析ツールをご紹介します。片足を一度上げ下げするだけで、身体の歪みや筋力の低下部位を測定直後に視覚的に評価できる優れた技術です。施術後の効果測定や、通所介護での運動指導、介護予防の取り組みなど、さまざまな場面で活用可能です。ビフォーアフターの変化を患者さんや利用者さんに客観的に示すことで、納得感のある説明やモチベーション向上にもつながります。根拠に基づく評価を求める皆さまに、ぜひご活用いただきたいツールです。



歪みチェッカー 限定公開

柔 整 部 会

2025年9月21日 学術研修会

講師：森 憲一 先生

テーマ：「骨格筋の基礎知識とその臨床応用」 (10:00～11:00)
実 技：「肩関節周囲筋に対する徒手的治疗手技（入門編）」 (11:00～13:00)
形 式：対面形式（別館4F 総合実習室）
※脳卒中、運動器疾患、産前産後ケアの分野で著名な先生です。

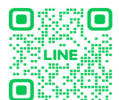
講習会の様子

今回の講習会では、愁訴の多い「頸腕症候群」をテーマに、森憲一先生よりご講義をいただきました。前半は約1時間にわたり、筋緊張の異常によって生じる臨床像について理論的な解説が行われました。続く2時間は、肩関節周囲筋に対する徒手的治疗手技（入門編）を実技形式で学び、参加者全員が臨床に直結する技術を体験しました。

当日の参加者は運営側を含めて約30名。母校の校友会生や学生に加え、外部からの一般参加者の方々にもご参加いただきました。一般参加はまだ少ない状況でしたが、校友会生や学生にとっては新しい人脈を広げる機会となり、また学術を通して関西医療学園専門学校への理解を深めていただく良い場となりました。

本来は50名の参加を見込んでおりましたが、告知不足もあり、予定数には届かない結果となりました。今後はさらに広報を強化し、多くの方々にご参加いただけるよう取り組んでまいります。

校友会公式ライン→



ご案内

校友会生の先生には、ぜひ情報共有のLINE登録をお願い申し上げます。

今回の講習会の内容は、柔整部会ホームページにてアーカイブ配信しております。校友会生にとっての大切な学術的財産として、ぜひご活用ください。

今後とも柔整部会の活動にご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



理 学 療 法 部 会



理学療法部会
会長

長谷川 治
(理学療法学科4期生)



部会長ごあいさつ

平素より本会の活動にご理解とご協力を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

我々の母校である関西医療学園専門学校の理学療法学科が、今年31期生を送り出され、私たちの新たな仲間を加えて総勢1000名を超える大所帯となりました。

私たち校友会の目的は、卒業生同士の絆を深め、知識と技術の向上を目指してさまざまな活動を展開することです。そして何より母校である関西医療学園専門学校の下支えになることにあります。医療現場は日々進化しており、理学療法士としての役割もますます重要となっています。そのような時代に、卒業生の皆様が社会の第一線で活躍されていることを心より誇りに思います。その活躍の中に、特に理学療法士が憧れの職業になることを願い、現場で輝きを放つ職人になっていかれることを願っています。

そうして皆さんのような理学療法士になりたいと思う若い人たちが一人でも増えて、関西医療学園専門学校に入学してもらえるように働きかけることが、我々校友会による恩返しにもなると思いますので、よろしくお願い申し上げます。我々役員一同も皆様の役に立つための更なる努力を続けてまいります。

引き続き、温かいご支援とご協力を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

理学療法部会

2025年6月7日 ミニ勉強会

講師：柏木孝介 先生

令和7年6月7日、関西医療学園専門学校校友会理学療法部会主催、令和7年度ミニ勉強会が関西医療学園専門学校別館4階総合実習室にて開催されました。今年度、理学療法部会では毎年開催している学術研修会のほか、卒業生が講師を務めて下さる勉強会（学術研修会と区別するためにミニ勉強会と称しています）が3回も予定されており、今回がそのミニ勉強会の第一回目でありました。今回は、角谷整形外科病院リハビリテーション科の柏木孝介先生（理学療法学科11期生）を講師にお迎えし、「肩関節拘縮に対する治療」をテーマにご講演いただきました。

ご講演では、最初に基本的な肩関節の解剖学的知識と最近の知見などについてひとつずつ丁寧にご講義くださいました。また、柏木先生ご自身も、数年前に肩腱板断裂を受傷されていたとのことで、患者目線での当時の痛みに対する感情なども話してくださいました。その後、機能解剖に基づいた治療アプローチについて、海外で勉強をされた際の動画やその他多くの画像・映像も見せていただきながら、会場全体に対するデモに続いて、参加者どうしで実技を行いました。実技中には柏木先生が各グループを見回りながら手取り足取り丁寧に説明と実践を見せてくださいました。柏木先生の柔らかい物腰と優しいお人柄もあって、参加者の皆さんも気楽に質問ができ、熱心にも楽しんで受講されていたように思います。

今回は、「かんゆう」での勉強会案内が会員の皆様のお手元に届くより前に、事前に校友会グループLINEで発信していた勉強会開催告知の時点で10数名の卒業生から参加申込みがあったと聞いており、肩関節拘縮という臨床でよく見る、また治療にも難渋することの多いこのテーマに対する関心の高さを感じました。勉強会に参加させていただき、柏木先生をはじめ、卒業生の皆さんの患者様を良くしたい、何とか力になりたいという熱意もとても感じられ、非常に貴重で有意義な時間を過ごさせていただけたと感謝しております。

(P8 金井一暁)



理 学 療 法 部 会

2025年7月16日 ミニ勉強会

講師：若杉謙次郎 先生

本日の研修会では、発達領域でご活躍されている若杉先生に、発達しょうがいと理学療法というテーマでご講義して頂きました。私は市内の療育センターで主に肢体不自由児や重症心身障害児の治療をしておりますが、発達障害のあるお子さんの外来治療をする機会も多くはありませんが機会があります。しかし、発達障害の分野に関して知識と経験が少なく、理学療法士としての関わりに具体的なイメージを見出せていない中で今回の講義を拝聴させていただきました。

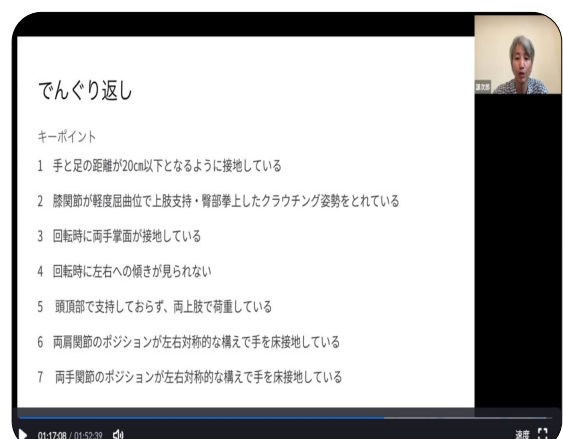
講義の中では、発達障害が法律や福祉の視点からどう見られているかといった、発達障害の社会的立ち位置の話や、若杉先生が現場で肌で感じる理学療法士としての支援の視点や、動作分析を強みとした関わりなど、同じ小児分野で働く私からしても非常に新鮮で視野の広がるお話をたくさん聞かせて頂きました。その中でも、個人的に印象に残っているのが、支援の際にもっと保護者の方に焦点を当てることも大切だとおっしゃられていたことです。子どもは保護者と共に成長し、発達の過程を一番近くで見ているのは保護者の方です。小児分野では、そんな保護者の方のお子さんに対する思いに寄り添い支援を行うことが、成人の方へのリハと異なるひとつの特徴であり、最も重要なことだと日々の臨床現場で感じております。

そのほかにも活発な質疑応答の中で貴重なお話が聞けて非常に有意義な時間でした。

小児分野で働く理学療法士として、今回の発達障害に焦点を絞った研修はとても嬉しく思いました。本日得た知見を何とか臨床で活用していけるように、これからも自己を研鑽していきたいと思います。

貴重な研修を企画してくださった校友会の先生方、そしてご講義して頂きました若杉先生、本当にありがとうございました。

(P26 荒谷崇帆)



理 学 療 法 部 会

2025年8月2日 ミニ勉強会

講師：吉川琢磨 先生

本日の研修会では、現在病院の臨床実習責任者として日々学生指導方法について自己研鑽され続けている吉川琢磨先生に「当院・臨床実習指導の取り組み」というテーマでご講義して頂きました。私は、総合病院や診療所で理学療法士として臨床経験を積み、今年から母校に戻り教員となりました。臨床現場で学生指導を行っていた立場から、現在教員として学生に対して関わる立場に変わりました。今後、教員として学生と関わる上で、学生指導が行われている現場のお話を伺える事はとても貴重と感じ、今回の講義を拝聴させていただきました。

講義の中では、従来の実習で課題であったレポートやレジュメ提出等の課題は基本行わずに、“臨床実習は臨床実践”という位置づけのもと、実習指導計画を作成されたり、診療参加型実習を積極的に実施されていたりと、様々な取り組みをされているお話を伺うことができました。また、近年推奨されている2対1モデルについても実施されており、実際に行っている中でのメリット・デメリットについても伺うことができました。様々なお話を伺う中で、特に印象に残ったものとして、実習生に対して実施したアンケートをテキストマイニングを用いて解析されていることでした。学生が実習期間を過ごすにあたり、どこに重きを置いているのか、学生視点からの指導者に対して感じていることなど、とても分かりやすく理解することができました。

以前と比較して指導方法も変化し、また実習内容もより実践的な臨床実習を行われる施設も増えている中、少子高齢化に伴い学生の能力差も大きくなっているといわれています。現在推奨されている指導方法にメリットがある反面、より実践的な臨床実習を行うことで、学生の知識がその実習についていくことができているか等も含めて課題は数多くあるのだと、考えることができた貴重な時間でした。

今回貴重な研修を企画してくださった校友会の先生方、お忙しい中ご講義いただきました吉川琢磨先生、ありがとうございました。

(P18 末廣里実)



理 学 療 法 部 会

2025年9月13日 学術研修会

講師：西村真人 先生

本日の研修会では、循環器領域でご活躍されている西村真人先生に「心疾患の評価と治療の考え方」というテーマでご講義して頂きました。私は大阪府の南河内地方にある急性期病院で主に整形外科疾患や呼吸器疾患等を罹患された高齢者の患者様に対して理学療法を行っています。ご高齢であることから複数の既往歴や併存疾患があり、特に心疾患が多く、患者様の病態把握に悩むことが多くありました。そこで今回心疾患の評価と治療を学びたいと思い、今回のご講義を拝聴させて頂きました。

講義の中では、前半に最近の循環器疾患治療の話題や循環器理学療法について、国内のみならず海外の論文を用いてわかりやすく教えて頂き、後半では循環器疾患の評価方法や運動負荷量について詳しく教えて頂きました。また、本講義は理学療法士のみならず、柔道整復師の先生方や鍼灸師の先生方も参加されており、病院での勤務では関わりの少ない他職種の方からの考え方等を聞かせて頂ける貴重な時間でした。その中でも、個人的に印象に残っていることが、脆弱期に注意して退院時指導を行うことです。この脆弱期とは、退院後3～6ヶ月程度で心不全での再入院や死亡の多い時期のことをいいます。この時期は入院中に管理していた内容が、医療者からご家族様など、医療の知識が少ない方へ移行する時でもあるため、再入院等が多いのではないかと教えて頂きました。改めてデータを見て、退院時指導の必要性を再認識し、患者様本人のみならず、ご家族様など患者様の周りの方に向けての指導方法を考え、再入院を可能な限り予防できるような介入をすることの大切さを学ぶことができました。

その他にも、理学療法士の先生のみならず他職種の先生からも活発な質疑応答があり、貴重なお話が聞けて非常に有意義な時間でした。本日得たことを日々の臨床で活用していけるように、これからも自己研鑽に励んでいきたいと思っています。

貴重な研修を企画してくださった校友会の先生方、そしてご講義して頂きました西村 真人先生、本当にありがとうございました。

(P26 山口貴史)



歯 科 衛 生 部 会



歯科衛生部会
会長

秋山 絢音
(歯科衛生学科1期生)



部会長ごあいさつ

歯科衛生部会会員の皆様、平素より校友会活動にご理解とご協力賜り、ありがとうございます。歯科衛生士部会会長の秋山絢音です。

本部会は、歯科衛生士としての知識や技術の向上、そして会員同士のつながりを大切にしながら活動していきたいと思っております。近年は、予防歯科の重要性の高まりや高齢化の進展により、私たちに求められる役割もどんどん広がっています。そうした中で、日々の学びや情報共有の大切さを改めて感じています。私自身も昨年度、合同学術研修会に参加し、多くの気づきや刺激を受けました。そこで得た学びを活かしながら、会員の皆さんが気軽に参加できて、お互いに成長できるような場をつくっていきたくと考えています。

また、地域への貢献や他職種との連携にも取り組んでいけたらと思っています。

最後に、これからの活動が実り多いものとなるよう、全力を尽くしてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



鍼灸部会

鍼灸部会
会長

宮入 眞一

(鍼灸短大12期生・柔道整復学科43期生)



部会長ごあいさつ

校友会会員の皆様におかれましては益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

また平素より校友会活動へのご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年には大学の学園祭に合わせまして卒業生で阪神タイガースにて長年トレーナーとして活躍された小滝康樹先生にお越し頂きプロスポーツの現場のお話しや選手とのウラ話から現在は西宮にて鍼灸・接骨TIGRISを開業なされてのお話しを楽しくユーモアたっぷりに講演をして頂きました。

講演後も沢山の方々からの質問や進路への相談なども丁寧に受けておられとても有意義な時間になったのではないかと思います。

また校友会活動では在校生の就職活動の支援事業として交通費の補助を行っております。

大学・指導者先生方の努力と学生たちの努力が合わさり様々なところで活躍する卒業生が増えている事に喜びを感じ、その様な活躍の第一歩を支える事業として活用してもらえればと考えております。

卒業生の活躍が大学を益々豊かにし、そして校友の輪が広がり、校友会という組織の輪も広がっていく様な活動をして参りたいと思いますので、今後とも校友会活動へのご理解を賜り、ご参加いただければ幸いです。



鍼灸部会

2025年11月8日 学術研修会 講師：小滝康樹 先生

令和7年11月8日（土）、関西医療大学ラーニングコモンズにおいて、本学卒業生の小滝康樹先生を講師に招き、大学校友会鍼灸部会主催の学術研修会を開催しました。この日は、第40回関医祭がコロナ禍前の週末開催に戻ったこともあり、久々の対面開催（参加者22名）となりました。テーマは「阪神タイガースのトレーナーとして23年間の経験と培ったスキル」です。

小滝先生は、関西鍼灸短期大学卒業後、阪神タイガースのトレーナーとして2002年から2024年まで23年間勤務し、2025年2月より鍼灸・接骨TIGRISを開院されています。

講演では、鍼灸短大時代、柔整専門学校時代から阪神タイガース入団の経緯、入団後の苦悩と葛藤、そして夢であったリーグ優勝と日本一の達成、さらにはその後の開業に至るまで、非常に濃い歩みが語られました。出席者は鍼灸師、柔道整復師、そしてそれらを目指す学生の皆さんなど、多岐にわたりました。

講演では、これまでの歩みとともに、参加者へ向けた数々のメッセージが紹介されました。それらは「やりたいことや好きなことを書き出す」「経験する（五感で感じる）」「運・縁・恩を大切にする」「耐える（すぐに逃げるのではなく）」「小さな一番を目指す」「根回しをする」「基本の仕事＋α＝楽しむ・笑う」「言葉を大切にする」といった、経験から得られた大切な指針でした。さらに、先生は目標の一つとして、開業と並行し著書『百虎繚乱：プロ野球阪神タイガース トレーナー23年』を執筆されています。

後半の実技供覧では、小滝先生が考案し特許を取得された「ストラクショナルベルト」が紹介され、ストレッチを補助するツールとして機能が詳しく示されました。その実例は、参加者にとって大きな学びとなりました。

最後に、トレーナーとして現場で奮闘する参加者に向けて力強い言葉が送られました。先生の今後ますますのご活躍を祈るとともに、校友会へのさらなるご協力をお願いして閉会となりました。

（文責 鍼灸部会 坂口俊二）



理 学 療 法 部 会

理学療法部会
会長

西村 健

(大学理学療法学科1期生)



部会長ごあいさつ

卒業生の皆さま、そして在学生の皆さま、日頃より校友会活動へのご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。理学療法士を取り巻く環境は近年大きく変化しており、地域包括ケアの推進、医療・介護の連携強化、働き方改革や人材不足への対応など、現場には柔軟な判断力と確かな専門性が求められています。加えて、診療報酬・介護報酬改定をはじめとする制度の変化が続く中で、リハビリテーションの価値を「成果」や「根拠」として示すことがこれまで以上に重要になっています。また、ICTの活用、情報共有の効率化、オンラインでの連携なども進み、理学療法士に求められる役割は病院内にとどまらず、地域・生活の場へとさらに広がっています。こうした時代だからこそ、卒業後も学びを継続し、互いに支え合える“つながり”の価値は一層高まっていると感じます。

大学理学療法部会では、卒業生の皆さまが臨床で培った知見を共有し、明日からの実践に直結する学びの機会として、学術研修会の開催を継続しております。運動器・脳血管・内部障害といった主要領域はもちろん、地域リハビリテーション、多職種連携、リスク管理、評価・介入のアップデートなど幅広いテーマを取り上げ、卒業年次や勤務領域を越えて学べる場づくりを大切にしています。研修会を通じて「知識を得る」だけでなく、日々の悩みや課題を共有し、臨床の工夫や視点を持ち帰れるような交流の場となることを目指しています。

在学生の皆さんには、臨床に出る前から「理学療法士の学びは卒業後も続く」という姿勢を感じていただければ幸いです。卒業生の皆さまには、同窓の仲間として近況や課題を共有し、互いに刺激し合いながら成長し続けられる関係を築いていただければと思います。

今後も校友会が、母校と卒業生、そして次世代をつなぐ架け橋となれるよう活動を進めてまいります。引き続き、皆さまのご参加とご支援をよろしくお願い申し上げます。

理学療法部会

2025年8月26日 卒業生講演会

講師：橋添健也 先生 (9期生)

講師：山下直樹 先生 (7期生)

今回、関西医療大学校友会大学理学療法部会主催の研修会において、医療法人和光会山田病院リハビリテーション部所属であり、畿央大学大学院博士後期課程に在籍されている橋添健也先生、ならびに医療法人寿山会喜馬病院リハビリテーションセンターの山下直樹先生を講師としてお招きし、研修会を開催いたしました。橋添先生には「発達の視点をリハビリに活かす一年齢を超えて生きる支援のあり方を考える」をテーマに、発達の基本的理解から臨床実践への応用まで、幅広い視点からご講演いただきました。小児から高齢者までのライフスパンにわたる発達の捉え方や、個別性を重視した支援の重要性について学ぶ貴重な機会となりました。また、山下先生には「脳卒中の臨床評価」をテーマに、姿勢制御やバランス評価の理論的背景と具体的な評価方法についてご講演いただきました。臨床における評価の視点を整理し、よりの確なりハビリテーションの実践につなげるための有意義な内容でした。両講演とも、日常臨床に直結する実践的な内容であり、参加者にとって大変有意義で充実した研修会となりました。本研修会を通して得られた知見を、今後の臨床業務に活かし、より質の高いリハビリテーションの提供につなげていくことが期待されます。

(文責：山本将揮)

2025年11月30日 特別講演会

講師：鈴木俊明 先生

講師には関西医療大学副学長の鈴木俊明先生をお招きし、「脳卒中患者の特有な症状は運動学で解決できる」というテーマで、脳卒中患者への評価や介入方法について、運動学的視点からどのように評価し介入していけるのかをご講演いただきました。病的共同運動は症例ごとに病変部位や病状が異なるため、運動パターンがすべて一樣になるわけではありません。そのため運動学の視点を併せ持ち、なぜ連合反応を認めるのか、どのような代償が用いられているのか、原因を理解し解釈しなければならないことをご説明いただきました。そのうえでトレンデレンブルグ様現象やぶん回し歩行を例に、適切な機能障害にアプローチすること、触診で治療対象の骨格筋の活動を確認して治療を行っていく重要性を再認識できました。さらに、今回の講演会では対面参加者が直接実技指導を受ける機会を設けることができ、講義内容をさらに深掘りすることもできました。すぐに臨床に活かせる内容ばかりであり、今後の臨床に活かしていただければ幸いです。

(文責：山本将揮)



ヘルスプロモーション部会



ヘルスプロモーション部会
会長

溝端 直人

(ヘルスプロモーション整復学科4期生)



部会長ごあいさつ

校友会会員の皆様におかれましては平素より校友会活動に格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年度は、第三回目となる懇親会や学会を開催しました。学年の垣根を越え質問や意見の交換、知識の共有から卒後のキャリアについての相談など、新たな校友の繋がりを非常に嬉しく感じました。

私自身、日々患者さんに向き合う中、つい働くことに集中してしまい、学ぶことを忘れそうになる時があります。この校友会を通して、柔道整復師として働く友人・先輩後輩と会うことができ、学ぶことで貴重な機会となりました。ヘルスプロモーション部会として、多様な現場で働く柔道整復師の広い知見を得られるよう、今一度この仕事が楽しく患者の方々に胸を張って治療ができるようにより良い機会・企画が作れるよう尽力してまいります。

最後になりましたが、校友会会員の皆様のおかげで活動が続けることができいております。今後とも校友会活動にご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

2026年1月25日(日)ヘルスプロモーション部会主催 第1回学術研修会

大学で研究をされている、中西康将先生に登壇いただきました。総論ではファシア（筋膜）の構造について説明頂きました。2部の実技では股関節の運動制限や腰痛に対して仙腸関節部の筋膜リリース。ドケルバン病に対しての筋膜リリース。第二の心臓下限及び足底への筋膜リリース。顔面への筋膜リリース。今回は学生さんの参加が多く、少し難しい内容になりましたが、臨床を勉強する中でヒントになれた内容だったと感じました。

(文責：平下義樹)



看護部会

看護部会
会長

清水 和也

(看護学科1期生)



部会長ごあいさつ

校友会の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。
平素より校友会活動に格別のご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、社会情勢が大きく変化する中で、人と人とのつながりや、互いに支え合うことの大切さを改めて感じる機会が増えております。困難な状況に直面した時こそ、思いやりや助け合いの精神、そして温かいホスピタリティが大きな力になるものと感じております。

校友会看護部会におきましても、卒業生同士が気軽に交流し、近況を語り合い、困った時には相談し合えるような、温かくアットホームな会を目指して活動してまいりたいと考えております。また、世代を超えたつながりを大切にしながら、交流が盛んで活気ある部会となるよう、皆様からのご意見やお力添えをいただけますと幸いです。

最後になりましたが、皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げますとともに、今後とも校友会活動へのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げ、挨拶とさせていただきます。



臨床検査部会

臨床検査部会
会長

羽田 梨沙

(臨床検査学科2期生)



部会長ごあいさつ

校友会会員の皆様には益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。平素は校友会に対し格別のご理解とご協力を賜りまして、心からの感謝とお礼申し上げます。

校友会の皆様が、それぞれの分野においてご活躍されていることは、在学生にとって大きな励みであり、本学にとっても誇りであります。先輩方が築いてこられた伝統と実績は、現在の教育環境の礎となり、学生一人ひとりの成長を力強く支えてくださっています。

近年、医療・社会情勢は大きく変化し、専門職に求められる役割も多様化しています。そのような中、校友会は卒業生同士の交流の場であるだけでなく、現役の医療従事者として互いにアドバイスや指導を行い、さらには医療業界全体の発展に貢献するための大切なネットワークの場であると考えております。日々の臨床現場で直面している課題や、臨床検査技師としての臨床への関わり方について意見を交換し、互いに助け合い、協力し合えることは、校友会ならではの貴重な機会です。こうした交流を通じて得られた経験や知識を次世代へと引き継ぎ、臨床検査技師として医療に貢献するとともに、臨床検査部会のさらなる発展のため、今後も尽力してまいります。

最後になりましたが、皆様方の益々のご健勝、ご多幸をお祈り申し上げて挨拶とさせていただきます。

2026年4月4日(日)学術研修会・卒業生輩出10周年記念集会開催！

令和8年4月4日、関西医療大学校友会臨床検査部会主催による「令和8年度学術集会」および「卒業生輩出10周年記念集会」が開催されました。

本年度は、長崎大学前技師長の鶴田一人先生、本学科第1期生の高橋晃史先生より、臨床現場で役立つ研究についてご講演を賜りました。また、本学科教員の榎引健一先生からは、臨床検査技師としてのキャリア形成についてご講演いただきました。各分野においてご活躍されている先生方による実践的かつ示唆に富むご講演は、参加された卒業生にとって大変貴重な学びの機会となりました。

講演後は大学カフェに会場を移し、軽食を囲みながら交流の時間を設けました。卒業生同士の情報交換に加え、恩師との再会を喜ぶ場面も多く見られ、近況報告や学生時代の思い出話に花が咲くなど、終始和やかな雰囲気の中で親睦を深めることができました。

本集会は、学術的な学びと人的交流の双方において大変有意義な機会となりました。今後も、卒業生の学術的発展および人脈形成の場として、本学術集会を継続的に開催してまいります。

最後に、本会の開催にあたりご協力、ご参加いただきました校友会員の皆様ならびに関係各位に、心より御礼申し上げます。

(文責：羽田梨沙)



作業療法部会



作業療法部会
会長

田井 魁人
(作業療法学科1期生)



部会長ごあいさつ

平素より校友会活動に格別のご高配を賜り、心より感謝申し上げます。作業療法部会の会長を務めさせていただいております田井魁人でございます。早いもので、就任から5年目という節目を迎えることとなりました。この間、会員の皆様と共にさまざまな経験を積み重ね、つながりを深め、研鑽を積んで参りました。嬉しいことに会員数も少しずつ増えており、皆様の温かいご支援とご協力があったからこそ今日の活気ある部会活動があると深く感謝しております。

作業療法部会は他の部会に比べて歴史が浅い部会ではありますが、その分、柔軟な発想と自由な雰囲気大切にしながら活動を続けております。これまではオンラインを活用した症例発表会や勉強会など、状況に応じて試行錯誤を繰り返しながら、歩みを止めることなく学びの場を維持してまいりました。

そして昨年度は、これまでの在校生支援や症例発表会に加えて、一つの念願であった対面での勉強会を開催いたしました。本学の施設を利用させていただき、外部講師をお招きしての研修会を開催いたしました。この勉強会には卒業生だけでなく多くの在校生にもご参加いただきました。同じ空間で世代を超えて共に学ぶことで、学生に対する校友会の認知向上につながっただけでなく、関西医療大学、作業療法学科の先輩と後輩という「縦のつながり」を構築する非常に有意義な機会となりました。

周知のとおり、作業療法士の活躍の場は、病院にとどまらず、児童福祉施設、高齢者施設、精神障害者支援センター、就労支援事業所など社会のあらゆる領域へと拡大しております。多様な専門領域で活躍する仲間が一堂に会し、異なる分野の仲間と直接情報を共有することは、互いに視野を広げ、臨床における新たな視点を得る大きな力になると信じています。今年度につきましても、部会員の皆様のご要望をお聞きしながら、引き続き対面での勉強会を開催できればと考えております。

また、私事ですが、大学教員として教育現場に立つ中で、教える難しさと共に、学びを伝える楽しさを日々実感しております。大学での教育経験を生かし、校友会活動においても教育的な立場から皆様のサポートし、より充実した学びの機会を提供できるよう引き続き努めてまいります。

作業療法部会はまだ発展途上です。その分、一人ひとりの意見が反映されやすい特徴があります。今後も会員の皆様と共に「何を学び、何を求めるのか」を共有し、共に成長できる場を築き上げていきたいと考えております。

最後になりますが、校友会の皆様の益々のご健勝とご多幸、そして作業療法部会のさらなる発展を祈念いたしまして会長挨拶とさせていただきます。本年度もどうぞよろしくお願い申し上げます。

作業療法部会

2025年8月16日 在校生相談会

在校生支援の一環として、在校生と卒業生との相談会を実施しました。在校生からは特に就職活動、国家試験について質問があり、卒業生（特に4期生）が自身の経験等を交えながら、過去・現在のことについて話してくれました。学生の参加人数は少なかったですが、有意義な時間でした。

（文責：田井魁人）

2025年11月30日 特別講演会

講師：林 直樹 先生

卒後教育および在校生への校友会活動周知の一環として、Therapy Plays epifunny所長であり作業療法士の林直樹先生を講師にお招きし、「傾聴」をテーマにご講演いただきました。

本企画は、臨床現場において傾聴の実践に課題を感じた卒業生からの相談をきっかけに、林先生のご協力を得て校友会主催で実施する運びとなりました。

当日は多くの卒業生・在校生に参加いただき、盛況の内に会を終えることができました。講義ではグループワークを多く取り入れ、卒業生の嶋田准哉先生より提示された事例について、グループごとに活発なディスカッションを行いました。卒業生による臨床家の視点と、学生ならではの柔軟な発想が交錯し、相互に刺激を与え合う有意義な時間となりました。また、休憩時間には卒業生と在校生が自然と交流する姿も見られ、縦のつながりを深める場ともなりました。

末筆ながら、ご多用の中、講師を務めてくださいました林直樹先生をはじめ、事例検討の準備をしていた嶋田准哉先生、企画・運営に尽力していただいた田伏啓吾先生に深く感謝を申し上げます。

（文責：田井魁人）



専門学校校友会 2026年度総会・懇親会のお知らせ

拝啓 初夏の候、会員の皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。
平素は校友会運営にご協力賜り誠にありがとうございます。

さて、来たる6月20日(土)関西医療学園専門学校校友会総会・懇親会を開催いたします。
総会終了後の懇親会では、会員間の親睦を深め交流をはかる機会となりますよう、ご多忙中
とは存じますが、皆様のご参加お待ちしております。また、校友会ホームページでは、校友
会情報やその他のご案内なども随時アップしておりますのでご確認いただけましたら幸いに
存じます。 敬具

－ 記 －

日時 2026年6月20日(土) 18時より 専門学校校友会 総会(受付17:30～)
総会終了後、専門学校校友会 懇親会
会場 道頓堀ホテル 〒542-0071 大阪市中央区道頓堀2-3-25
TEL06-6213-9040 地下鉄御堂筋線なんば駅25番出口から徒歩約3分)
会費 3,000円
議案 2025年度報告、2025年度会計報告、2026年度事業計画案、2026年度予算案など

※総会資料はホームページにてご確認ください。当日資料が必要であれば各自印刷の上、ご持参ください。

懇親会申込み方法

懇親会参加希望の方は、右記QRコードもしくはURLより必要事項をご入力いただきお申込みく
ださい。

事務局にてご入力の確認後、ご登録いただきましたメールアドレス宛に、懇親会参加費の振
込先をご連絡させていただき、ご入金を確認させていただいた時点で、出席登録とさせていた
だきます。なお、会場の都合により出席は先着80名までとさせていただきます。

ご不明な点がございましたら、専門学校校友会事務局までお問い合わせください。

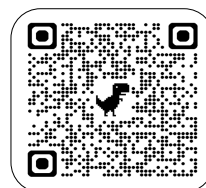
(お問い合わせ先 専門校友会06-6699-6030)

※クールビズでお越しくださいませ。

締め切り

2026年5月20日(水) ※ 当日受付不可

<https://forms.gle/NsDtgzQpEcuXLNSf7>



※当日会場での参加申し込みは、座席の都合上お受けできかねますのでご容赦くださいます
ようお願い致します。

専門学校校友会 2025年度総会・懇親会 開催されました！

令和7年7月12日（土）、2025年度関西医療学園専門学校校友会総会ならびに懇親会が、難波の道頓堀ホテルにて開催されました。2022年に関西医療学園校友会が関西医療大学校友会と関西医療学園専門学校校友会として独立して運営を開始し、また数年に渡るコロナ禍の影響を受け、永らく総会と懇親会を合わせて行うことはできておりませんでした。かつて当たり前のように行っていた総会と懇親会の同時開催が、今年漸く実現したのです。以前と比較すると小規模開催だったかもしれませんが、確実に校友会は前へと歩みを進めています。

総会に先立ち、今年5月にご逝去された元校友会会長の林利彦先生に黙祷が捧げられました。その後、明比大会長による総会開会の挨拶が行われ、続いて同じく明比会長より令和6年度事業報告と会計報告、令和7年度事業計画と予算案について、5月に開催された代議員会で承認を得た旨報告がありました。総会にご参加いただいた皆様にもご賛同いただき、総会は滞りなく終了いたしました。

引き続き開催された懇親会には総勢50名の皆様方がご参加くださり、校友のほか、関西医療学園専門学校より、武田秀孝学園長、武田大輔校長、廣岡聡副校長をはじめ、多数の教職員の皆様も会場に華を添えてくださいました。明比会長による懇親会開会の挨拶では、当日が大阪関西万博でブルーインパルスが飛行するまさにその日であり、ブルーインパルスを見たい人々で道が混み合っていたことなどにも触れられ、総会の真面目な雰囲気から和やかな雰囲気へと会場は変化していきました。続く武田大輔校長のご挨拶では、元校友会会長の林先生であれば、「暑おまんな～」と林節で挨拶をさせていただこうと林先生を偲べ、当時のようにもっと盛んに懇親会が開催されることを切望されておられました。そして、廣岡聡副校長による乾杯のご発声により会場は一気に賑やかに盛り上がり、来場者の皆さんはそれぞれに、お酒を楽しまれたり、お料理に舌鼓を打たれながら、皆笑顔で話に花を咲かせておられる様子でした。楽しい時間はあっという間に過ぎ、皆さんまだまだ話し足りない様子でしたが、懇親会も閉会の時を迎え、閉会の挨拶は一谷勇一郎副会長により行われました。一谷副会長からは来年は今年よりもより多くの校友に集まっていただき、盛大に開催しましょうと熱く語っていただき、会場はひとつの思いに包まれたまま閉会を迎えたのでした。

（報告：P8金井一暁）



大学校友会2026年度総会のご案内

関西医療大学校友会 会員 各位

関西医療大学校友会

会長 坂口 俊二

拝啓 初夏の候、会員の皆様におかれましてはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、来る2026年7月4日(土)に、関西医療大学校友会**2026年度総会**を開催いたしますのでご案内申し上げます。

本総会は、対面およびオンラインによるハイブリッド形式での開催といたします。オンラインでご参加の方は、下記QRコードよりご参加くださいますようお願いいたします。

なお、議案ならびに総会資料につきましては、**総会開催1週間前**までに公開予定です。校友会ホームページ(<https://www.kansai-koyukai.com/>)をご確認くださいようお願い申し上げます。

敬具

－ 記 －

日 時 2026年7月4日(土) 18時～18時30分(予定)

会 場 関西医療大学2号館2階A21講義室

議 案

- ・ 2025年度事業報告
- ・ 2025年度会計報告
- ・ 2026年度事業計画(案)
- ・ 2026年度予算(案) ほか



総会にリモート参加するためのQRコード

ミーティング ID: 832 0300 8995



パスコード: 992866

専門学校校友会・大学校友会 合同学術研修会

関西医療大学
学園祭併催！！

日 程：2026 年11 月 15 日（日） 13:00～16:30

会 場：関西医療大学診療・研究棟 4Fホール（予定）

※対面開催のみ

☆ 第1部 特別講演（13：10 ～ 14：40 ）

テーマ：「東洋医学から見たNursing一介護と看護を繋ぐケア」

講 師： 東郷 俊宏（明治国際医療大学客員教授、日本東洋医学サミット会議(JLOM)顧問、
順天堂大学協力研究員）

☆ 第2部 シンポジウム（14：50～16：20）

テーマ： 「多職種で支える介護予防 ― 専門性の融合と実践」

シンポジスト： 鈴木 勝也（NPO法人すこやか地域支援協会代表理事，株式会社グリーンベル
代表取締役）

松本 凱貴（社会医療法人三和会りんくう永山病院）

稲本 尊（関西医療大学保健医療学部作業療法学科助教）



2025年度 関西医療学園専門学校校友会・関西医療大学 合同学術研修会報告

第1部 テーマ：摂食嚥下障害の理解と予防 10:00～11:30 講師名：林 宏和 先生（林歯科医院 歯科医師・歯学博士）

林先生からは、解剖学的観点に基づき、嚥下機能の構造とその障害のメカニズムについて詳細にご講義いただきました。特に、X線動画を用いた嚥下・誤嚥の可視的な理解**は参加者に強い印象を与え、理論と臨床を結びつける内容でした。さらに、受講者自身が「水を飲む姿勢や方法」を変化させる実体験を通じて、誤嚥のリスクを体感的に学ぶことができました。この実技により、日々の介護・リハビリ・看護現場での姿勢指導や嚥下支援の重要性を再認識する貴重な機会となりました。



第2部 テーマ：ベロヨガ 11:40～13:10 講師名：向所 真由美（歯科衛生士）ベロヨガ講師（提案者）

向所先生からは、ベロヨガ誕生の経緯と、その理論的背景をご紹介いただきました。「舌の正しい位置保持」を通じて顔面筋・表情筋の調整を促すというユニークなアプローチを、鏡を用いて全員で実践。舌位の改善による嚥下機能の向上、姿勢・呼吸・自律神経バランスの調整など、多職種連携の現場で応用可能な実践的内容でした。明日から臨床で患者やクライアントに提供できる具体的手法として、多くの参加者から高い評価を得ました。



今回の新たな取り組み

本年度の研修では、従来にない新しい試みが3点実施されました。

1. 大学会場とのオンライン接続により、
関西医療大学と関西医療学園専門学校の2会場同時開催を実現。
2. 物療・エステ・フィットネス関連企業（計7ブース）による展示会を併設。
臨床機器・健康増進機器の情報交換が行われ、産学連携の可能性を広げました。
3. 一般参加者の受け入れとして、窓口負担を設定し校友会・学生以外の地域医療関係者にも広く参加いただきました。

まとめ

今回の合同学術研修会は、「基礎から共に学ぶ」というテーマのもと、解剖・生理・臨床実技・健康増進といった多角的視点から学びを深める場となりました。

林先生による科学的理解と、向所先生による実践的アプローチが融合した内容は、まさに地域包括ケアやチーム医療に直結するものであり、参加者に大きな学びと気づきを与えました。

本会の新たな試みを通じて、今後も校友会活動を中心に、**医療・福祉・リハビリ分野の連携と実践知の共有を継続的に発展させていくことが期待されます。

東洋医療部会 研修会一覧

〈関西医療校友会 研修会情報オープンチャット〉

東洋医療部会では学術研修会などの案内を上記のオープンチャットにて発信しております。（ハガキでのご案内は今回で最後となります。）



東洋学術案内LINE→

日 時：4月26日（日）13:00～16:10

テーマ：『構造から考察する腰痛の鍼灸治療』

講 師：川崎 勝巳 先生

会 場：関西医療学園専門学校 本館5階大ホール

日 時：12月20日（日）13:00～16:10

テーマ：『今の顔面神経麻痺の鍼灸治療がわかる』

講 師：中村 真理 先生

会 場：関西医療学園専門学校 本館5階大ホール



理学療法部会 研修会一覧

日 時：5月17日（日）10:00～13:30

テーマ：①膝関節スポーツ障害に対する術後リハビリテーション
－前十字靱帯再建術・半月板縫合術－（講義）

②長期腰部スポーツ障害に対するリハビリテーション
－腰椎分離症・非特異的腰痛－（講義）

講 師：①相原 望先生（ダイナミックスポーツ医学研究所）
②浅香孝至先生（ダイナミックスポーツ医学研究所）

会 場：関西医療学園専門学校 別館4階 総合実習室

日 時：7月4日（土）13:00～16:00

テーマ：肩関節拘縮に関する理学療法（講義および実技）

講 師：柏木孝介先生（角谷整形外科病院）

会 場：関西医療学園専門学校 別館4階 総合実習室

上記QRコードをカメラアプリで読み取り
グーグルフォームから参加登録してください



QRコードURL: <https://forms.gle/XxVhtfyDJojjKfBy7>

柔整部会 研修会一覧

日 時：2026年8月30日（日）11:00～13:30

テーマ：講義：骨格筋の基礎知識とその臨床応用

実 技：脊柱起立筋に対する徒手的治疗手技（入門編）

講 師：森 憲一先生（リハ・コンディショニングセンター）

会 場：関西医療学園専門学校 別館4階 総合実習室

SNSは敵か味方か！？

～SNSを始めるべきか悩んでいる人ほど聞いてほしい～

日 時：2026年 未定（決まり次第、HPにてお知らせいたします）

【公演内容】

- ・SNSは敵か味方か
- ・自己紹介
- ・SNSが”味方”になる瞬間
- ・SNSが”敵”になる瞬間
- ・多くの人が陥る落とし穴
- ・SNSの役割とは（視点の転換）
- ・CMという選択肢
- ・まとめメッセージ

【登壇者】

会社名：日本生活基盤株式会社

氏 名：木村匡希

年 齢：25歳



経 歴：

- ・一谷勇一郎衆議院議員の動画撮影、編集、CM動画の作成、運用協力
- ・小豆島町長選立候補者のSNS運用協力

2026年度 関西医療大学校友会

研 修 会

大学に設置の6学科毎に部会を置き、校友ならびに在校生支援を行っています。随時ホームページや部会毎のSNS等のツールを利用して案内していきます。

現時点で、日程や講師、内容などが決まっている研修会をご案内いたします。

大学校友会(鍼灸部会) × 国際交流部門 × キャリア支援課 合同事業開催！

テーマ：「世界で広がる鍼灸治療 ― 南米での事例紹介 (Part2) 」

日 時：2026年11月14日（土）9:00～11:00

形 式：ハイブリッド形式

会場：関西医療大学 4号館2階 ラーニングコモンズ

Zoom ミーティング ID: 819 6716 8941 パスコード: 944615



(研修会にリモート参加するためのQRコード)

内 容：昨年度実施した同テーマの企画は、実施後アンケートにおいて好評を得たことから継続開催の要望がありました。これを受け、国際協力機構（JICA）の日系社会研修「鍼灸学」コース修了生によって構成される南米部会と再度協議を行い、本年度も実施することとしました。昨年度の開催内容については、本『かんゆう』をご覧ください。

今年度は開催時間を昨年の90分から120分へ拡大し、南米部会からの症例報告に加え日本側（校友会員および大学教員）からの症例紹介も行い、相互にディスカッションを行う予定です。

また南米部会からの要望を踏まえ、症例報告に対する質疑応答だけでなく、日本における類似症例があれば併せて紹介し、臨床的な知見の共有を図ります。



「関医祭」 大学校友会企画

関西医療大学校友会・南米部会・国際交流部門 コラボレーション企画を開催！

令和7年11月8日（土）、関西医療大学第40回「関医祭」にあわせて、ラーニングコモンズを拠点にリモートを併用したハイブリッド形式にて、関西医療大学校友会・南米部会・国際交流部門の共催による「世界で広がる鍼灸治療－南米での事例紹介－」が開催されました。参加者は38名で、南米部会の呼びかけにより、リモート参加が特に多く見られました。

関西医療大学では、1998年より独立行政法人国際協力機構（JICA）の日系社会研修「鍼灸学」コースを継続して受け入れています。研修員の皆さんは修了後、それぞれの母国で臨床活動を行い、その成果を地域医療に還元しています。また修了生は「南米部会」を結成し、情報交換や母校との交流を継続してきました。今回は、南米部会のメンバーから5名の方が参加し、合計6つの症例を発表しました。内容は、「顎関節症」「月経関連片頭痛」「放射線直腸炎」「腫瘍」「体外受精患者における主席卵胞の発育抑制」「胃食道逆流症と創傷治癒」など多岐にわたり、チクチク療法、耳介療法、鍼通電療法をはじめ、漢方や食事療法を組み合わせ、鍼灸の効果を最大に引き出す治療アプローチが紹介されました。その成果はどれも説得力があり、日本では症例報告が限られている分野も多く、南米を中心に鍼灸医療が確かな医療として定着していることを強く実感させられました。

企画後の参加者アンケートでは、肯定的な意見が大半を占め、日本からの最新情報の継続的な提供を求める声も寄せられました。

また、コロナ禍を経て「関医祭」が本来の週末開催に戻ったことで、このような企画が今後も“関医祭の風物詩”として継続されることが期待されます。

最後に、ご講演・ご参加くださった皆様をはじめ、抄録の翻訳や当日の通訳を担当された土屋恵美子先生、そして運営全般に多大なご協力をいただいた国際交流部門の皆様にも、心より感謝申し上げます。

（文責 大学校友会会長 坂口俊二）





開催されました！

かんゆう 39



2025年11月16日（日）に泉佐野カントリークラブにて（参加者20名）、2026年3月29日（日）に関西ゴルフクラブにて（参加者15名）校友会親睦ゴルフコンペが開催されました。

今回はなんと千羽壯二先生（PT学科卒・柔整学科卒）が二大会連続で優勝されました！天候も良く皆様和気あいあいとゴルフを楽しんでおられました。

今後の校友会親睦ゴルフコンペは3月末の日曜日に開催することになりましたので皆様ご予約を空けていただき、一人でも多くの方に参加して頂きたいです。

幹事 西守隆、永橋正人

2025年11月16日開催



2026年3月29日開催



校友会親睦ゴルフコンペ 決算書 2025.11.16			
		(単位:円)	
収入の部		金額	備考
■校友会補助		28,400	1人1320円×20人
収入の部合計(①)		28,400	
支出の部		金額	備考
会食代	会食代	28,400	1人1320円×20人
支出の部合計(②)		28,400	
差引利益(①-②)		0	

校友会親睦ゴルフコンペ 決算書 2026.3.29			
		(単位:円)	
収入の部		金額	備考
■校友会補助		16,500	1人1100円×15人
収入の部合計(①)		16,500	
支出の部		金額	備考
会食代	会食代	16,500	1人1100円×15人
支出の部合計(②)		16,500	
差引利益(①-②)		0	





令和7年度、339,000円 87名の方々にご支援いただきました。
あらためまして、皆様からのご協力、ご支援に心より感謝とお礼を申し上げます。
頂戴いたしました賛助金はオンラインで開催する研修会や会議を充実させるための備品の購入などに使用させていただきます。

武田 秀孝	¥100,000		木戸 弘	¥2,000		堀平 怜司	¥2,000
米本 徳雄	¥12,000		山脇 章	¥2,000		玉木 香	¥2,000
南川 純子	¥12,000		南塚 文人	¥2,000		佐上 博之	¥2,000
大藪 泰三	¥12,000		井川 治郎	¥2,000		新岡 生基	¥2,000
東尾 二郎	¥10,000		俊成 和郎	¥2,000		上田 英司	¥2,000
三井 幸治	¥10,000		関 孝一	¥2,000		金井 一暁	¥2,000
高橋 敬三	¥10,000		段本 清剛	¥2,000		中井 一彦	¥2,000
唐門 一智	¥5,000		河田 孝允	¥2,000		大倉 教史	¥2,000
滝本 吉蔵	¥4,000		藤田 守甫	¥2,000		溝淵 望	¥2,000
酒井 克尚	¥4,000		森永 文夫	¥2,000		亘 辰夫	¥2,000
小嶋 利博	¥4,000		山脇 瑠璃子	¥2,000		永橋 正人	¥2,000
明比 大	¥4,000		楠 治郎	¥2,000		泉野 勉	¥2,000
岡田 吉弘	¥4,000		平野 進	¥2,000		染川 和義	¥2,000
辻 宏	¥2,000		岩橋 利治	¥2,000		船本 美香子	¥2,000
政氏 美代子	¥2,000		大西 浩史	¥2,000		藪下 重光	¥2,000
岡田 春男	¥2,000		大原 恒一	¥2,000		高 義富	¥2,000
大西 良子	¥2,000		伊勢村 康二	¥2,000		嶋岡 豪	¥2,000
岡田 重喜	¥2,000		酒本 哲聖	¥2,000		安宅 優輔	¥2,000
河野 司	¥2,000		浦井 匡輔	¥2,000		西川 恵	¥2,000
烏野 花	¥2,000		古澤 博	¥2,000		森 亮憲	¥2,000
松尾 雅基	¥2,000		秦 章	¥2,000		堀野 智宏	¥2,000
鈴木 学	¥2,000		今井 綱志	¥2,000		巽 恵	¥2,000
川崎 勝巳	¥2,000		崎濱 成康	¥2,000		岩槻 蒼依	¥2,000
山野 順之	¥2,000		中山 陽子	¥2,000		中村 尚能	¥2,000
杉谷 義登	¥2,000		西口 悟	¥2,000		小塚 深仁	¥2,000
上田 勝彦	¥2,000		太田 博文	¥2,000		小林 信博	¥2,000
松浦 穰士	¥2,000		加納 豊子	¥2,000		小磯 翔子	¥2,000
中村 弘子	¥2,000		佛 颯馬	¥2,000			

(匿名希望者 4 名)





関西医療学園専門学校

オープンキャンパス2026 毎月開催中！

<https://www.kansai-iryo.ac.jp/admission/opencampus/>

入学試験 全学科6月よりスタート！

校友会会員のみの学費減免や推薦入試も実施中です。

入試情報はこちら

<https://www.kansai-iryo.ac.jp/admission/guideline.php>

詳しくは、関西医療学園専門学校入試広報課(06-6699-2222)までお問い合わせください。

Kansai Vocational College of Medicine

FIND

健康を支える仕事。
きみの未来は、ここで選べる。

大阪南部で唯一
医療系**5**学科が揃った
総合専門学校

理学療法学科
歯科衛生学科
東洋医療学科
東洋医療鍼灸学科
柔道整復学科

YOUR FUTURE

 関西医療学園専門学校

関西医療大学

ファミリー奨学金（20万円支給）、はじめました！

今年度からチャンスは2回あります。ファミリー選抜入試の合格者全員を対象に入学金相当額（20万円）を入学後に支給します。建学の精神に深い理解を示し、本学園の発展に貢献してこられた同窓生の子弟を受け入れます。

〈試験日〉2026年10月3日（土）、11月8日（日）

〈出願資格〉両親または兄弟姉妹のいずれかが本学園が設置する学校の卒業生または在校生、もしくは本学園に勤務している職員の子弟または兄弟姉妹で、本学園が定める要件を満たす者（専願制）

※詳細は大学入試・広報部（072-453-8284）までお問い合わせください。

2027年度入学試験日程

試験方式		試験日	出願期間	合格発表日
★ファミリー選抜Ⅰ期		10/3（土）	9/15（火）～9/25（金）	11/2（月）
総合型選抜	Ⅰ期	10/3（土）	9/15（火）～9/25（金）	11/2（月）
	Ⅱ期	12/13（日） （エントリー型、スポーツ活動評価型）	11/24（火）～12/4（金）	12/22（火）
★ファミリー選抜Ⅱ期		11/8（日）	10/20（火）～10/30（金）	11/19（木）
自己推薦型選抜	Ⅰ期	11/8（日）	10/20（火）～10/30（金）	11/19（木）
	Ⅱ期	11/29（日）	11/10（火）～11/20（金）	12/12（木）
一般選抜	前期A	2/1（月）	1/12（火）～1/22（金）	2/10（水）
	前期B	2/2（火）		
	後期	3/7（日）	2/16（火）～2/26（金）	3/15（月）
大学入学共通テスト利用選抜	前期	個別試験は課しません。	1/12（火）～2/2（火）	2/10（水）
	後期		2/16（火）～2/26（金）	3/15（月）

大学院入学もご検討ください！

2027年度入学試験日程

試験方式		試験日	出願期間	合格発表日
大学院	Ⅰ期（修士課程のみ）	10/3（土）	9/15（火）～9/25（金）	10/16（金）
	Ⅱ期	3/7（日）	2/16（火）～2/26（金）	3/15（月）

オープンキャンパス2026を開催します！

今年も、毎年大好評のオープンキャンパス2026を開催！

学科説明会やキャンパスツアー、体験企画、入試説明、個別相談コーナーなど内容盛りだくさん。在学生とつながれる特別企画もあります。また参加者の皆さまへ、関西医療大学オリジナルグッズのプレゼントもご用意。リアルな関西医療大学のキャンパスを体感してください！

〈開催日〉6/7（日）、7/19（日）、8/2（日）、8/16（日）、9/6（日）、12/19（土）



専門学校 表彰者

【学内表彰】

順不同

学校長賞	東洋医療学科	備後 里咲
	東洋医療鍼灸学科	田村 静夏
	柔道整復学科	中宮 遼
	理学療法学科	田中 沙季
	歯科衛生学科	朝日 萌
精励賞	東洋医療学科	山本いづみ 正木 仁美 向井 心 森 世史輝
	東洋医療鍼灸学科	朝倉京子 小寺ひとみ 坂元 伊織 田村 静夏
	柔道整復学科	原 龍之助
	理学療法学科	加藤 風花 北浦 凜人 北野あすか 齋藤 夏希
		坂口 俊太 佐倉 颯真 竹野 晃平 立花 拳基
		平瀬 海寛 福岡 慎平 真弓 茂太
	歯科衛生学科	朝日 萌 恵田 菜央 金子 彩乃 加納 紅葉
		越野妃名子 酒見彩由奈 谷崎 由委 永留 暖花 古江さくら
柔道精励賞	柔道整復学科	大島 宗顕
学友会感謝状	東洋医療学科	松岡 郁也

【各団体表彰】

順不同

大阪府知事賞	東洋医療学科	松岡 郁也
東洋療法学校協会優秀賞	東洋医療学科	正木 仁美
全国柔道整復学校協会会長賞	柔道整復学科	金尾 匠祐
全国リハビリテーション学校協会優秀賞	理学療法学科	海野 穂季
全日本鍼灸マッサージ師会 会長賞	東洋医療学科	稲垣 充裕
	東洋医療鍼灸学科	坂元 伊織
日本鍼灸師会会長賞	東洋医療鍼灸学科	小寺ひとみ
全日本鍼灸学会会長賞	東洋医療学科	林 綾香
日本東洋医学系物理療法学会会長賞	東洋医療学科	木下 剛
日本柔道整復師会会長賞	柔道整復学科	戸崎 開
日本柔道整復接骨医学会会長賞	柔道整復学科	大島 宗顕
日本理学療法士協会学業優秀賞	理学療法学科	中村友里華
大阪府理学療法士会学業優秀賞	理学療法学科	平瀬 海寛
住吉区歯科医師会会長賞	歯科衛生学科	金居 美那
	歯科衛生学科	生天目陽向
大阪府歯科衛生士会会長奨励賞	歯科衛生学科	金子 彩乃
関西医療学園専門学校 校友会会長賞 長賞	東洋医療学科	吉原 遼
	東洋医療鍼灸学科	朝倉 京子
	柔道整復学科	原 龍之助
	理学療法学科	齋藤 夏希
	歯科衛生学科	谷崎 由委

令和7年度実施 国家試験結果

令和7年度 関西医療学園専門学校 卒業生				
学科	国家資格	受験者数	合格者数	合格率
東洋医療学科	あん摩 マッサージ指圧師	22名	22名	100%
	はり師	22名	22名	100%
	きゅう師	22名	22名	100%
	はり師	22名	22名	100%
東洋医療鍼灸学科	はり師	18名	16名	88.9%
	きゅう師	18名	16名	88.9%
柔道整復学科	柔道整復師	9名	9名	100%
理学療法学科	理学療法士	29名	28名	96.6%
歯科衛生学科	歯科衛生士	34名	34名	100%

関西医療学園教育研究充実事業資金寄付金の御礼		
下記の通り関西医療学園教育研究充実事業資金寄付金を頂戴しております。ここに掲載して厚く御礼申し上げます。		
令和5年4月1日～令和7年5月31日現在迄のご寄付分		
30,000円	鈴木 章子 様 (R5)	三鬼 基史 様 (R7)
	山田 尚紀 様 (R6)	盛 美佐子 様 (R7)
	藤崎 剛 様 (R6)	増原 大介 様 (R7)
	堀 治義 様 (R6)	加藤 勝朗 様 (R7)
	竹田 幸子 様 (R6)	
100,000円	株式会社 傳次郎 様 (R7)	
※令和7年6月以降にご寄付を頂いた方につきましては、次回に掲載させていただきます。あしからずお許しください。		

学部・学科	年度	資格	卒業者数	受験者数	合格者数	合格率
保健医療学部	令和7年度	はり師	35名	31名	27名	87.1%
はり灸・スポーツトレーナー学科		きゅう師			28名	90.3%
保健医療学部	令和7年度	理学療法士	62名	62名	61名	98.4%
保健医療学部	令和7年度	作業療法士	27名	27名	26名	96.3%
保健医療学部	令和7年度	柔道整復師	26名	25名	25名	100.0%
ヘルスプロモーション学科						
保健医療学部	令和7年度	臨床検査技師	70名	67名	67名	100.0%
保健看護学部	令和7年度	看護師	105名	105名	102名	97.1%
保健看護学部		保健師		15名	13名	86.7%
		助産師		5名	5名	100.0%



関西医療大学へのご寄附のお願い

関西医療大学は、建学の精神である「社会に役立つ道に生きぬく奉仕の精神」のもと、昭和60年4月に設置された関西鍼灸短期大学を礎として平成15年4月に開学した関西鍼灸大学を改称し、現在では大阪南部地域で2学部6学科1研究科を擁する医療系総合大学へと発展することで地域社会に貢献できる医療人材の養成に邁進してまいりました。

これまで本学は、在学生の保護者の皆さまをはじめ、卒業生の皆さま、関係諸機関の温かいご支援とご協力のもと、本学の教育目的の達成に向け、十分な教育効果が期待できる施設・設備の整備と充実に努めてまいりました。現在に至るまで、学生の教育研究活動、国家資格取得、就職活動などにおいて着実な成果を積み重ねております。また、令和6年4月に博士後期課程を開設した大学院保健医療学研究科では、高度な専門性を備えた医療従事者と研究者を養成するため、教育研究体制の一層の充実に努めてまいります。

一方、生成系AIを中心とする昨今の科学技術の急速な進歩や社会環境の変化に伴い、医療分野はますます高度化・細分化し、学生たちは、より高度で実践的な教育環境のもとでの学修が求められています。こうした状況を踏まえ、本学では一歩先の医療を見据えた教育研究環境の整備と充実に積極的に取り組み、医療系総合大学としての機能をさらに充実・発展させて教育の質を高めるとともに、特にICT教育を実践する施設・設備の充実を通じて、教育機能の一層の向上と改善を図りたいと考えております。

つきましては、関西医療大学で学ぶ学生たちの教育研究環境の向上を目的としたこれらの取り組みの趣旨にご賛同いただき、ここにご寄附をお願い申し上げる次第です。

皆様の温かいご理解とご支援を、何卒よろしくお願い申し上げます。

学校法人 関西医療学園

理事長 武田 大輔

関西医療大学

学 長 伊東 秀文

1. 名 称 学校法人関西医療学園 教育研究充実事業資金
2. 募集目的 教育研究の充実および施設設備の整備
3. 使 途 学校法人関西医療学園が設置する関西医療大学の教育研究経費および施設設備費に充当
4. 募集目標額 3千万円
5. 募集対象 教職員、卒業生、在学生の保護者の皆様、その他有志の皆様
6. 募集期間 随時
7. 寄附金額 一口 10,000円
8. 申し込み方法 インターネットからのお申し込みができます。

詳細は大学ホームページを御覧ください。

<https://www.kansai.ac.jp/info/kifu/>



■柔道部

開校以来の伝統を持ち、日々練習に励んでいます。
全国 柔道整復学校協会柔道 大会及 び実業団大会など
多数の大会に出場し、優秀な成績を修めています。
部員同士、またOBとのつながりも深く、一致団結。また初心者に対して基礎から教授することにより各部員が指導力を養っています。



■少林寺拳法部

各種大会にも積極的に出場しています。関西医療大学、
他校などとも交流と親睦を深めています。部員の他に、OBも
練習に多数参加しています。伝統あるクラブですが、アットホームな雰囲気のなかで活動を行っています。



■灸道部・揉道部

「お灸」「はり」「手法」を極め、
クラス、学生を超えた交流を図っています。技術を極めることで、人の役に立つことを目標にしています。
また幅広い 視野を持つために、卒業生などによる勉強会なども行っています。



■身体操法研究会

古武道の練習を通して健康増進に努めています。また身体の仕組みや機能について学び、治療にも役立てます。和やかな雰囲気の同好会です。



■東洋医学サークル

東洋医学には、経絡をはじめ、現代の科学では解明できないような学説が数多く存在します。当サークルでは、そういった疑問に対して、学生が自ら調べたり、会員同士で議論したり、あるいは調べたことをまとめてプレゼンしたりして、東洋医学をより深く学んでいくことを目的としています。



大学クラブ活動

■中国伝統医学研究会

2025年 11月9日 学園祭出店

■軽音部

2025年 4月4日 入学式パフォーマンス
2025年 11月9日 学園祭パフォーマンス

■吹奏楽部

2025年 11月9日 学園祭パフォーマンス

■サッカー部

2025年 4月～6月 医歯薬リーグ出場
10月 近畿医歯薬大会出場

■ボランティア部

2025年 5月17日 陸上大会の運営・競技補助

■陸上トレーナー部

2025年 5月24・25日 第78回大阪高校陸上競技対抗選手権大会 選手サポート
2025年 7月12・13日 大阪マラソン練習会 選手サポート
2025年 7月20・21日 大阪高体連陸上競技大会 選手サポート

■DANCE部

2025年 4月4日 入学式パフォーマンス
2025年 6月27日 学内ランチライブ
2025年 11月9日 学園祭パフォーマンス
2026年 1月19日 学内ランチライブ

■水泳競技部

2025年 7月12日 第39回近畿医療学生水泳選手権出場
2025年 11月29日 第6回近畿医療学生短水路選手権出場

■柔道部

2025年 11月30日 第19回大阪学生柔道体重別大会出場

専門学校 柔道整復学科67期 金尾匠祐

3年間、共に切磋琢磨した仲間や先生方に支えられ、充実した学生生活を送ることができました。特に国家試験に向けた猛勉強の日々は、自分自身の限界に挑む貴重な経験となりました。実技実習では、知識が技術に変わる瞬間の難しさと喜びを知り、改めて柔道整復師という職業の奥深さを実感しています。

卒業後は、全国柔整鍼灸協同組合が掲げる倫理観を胸に、患者様の痛みだけでなく心に寄り添える医療人を目指します。まずは臨床現場で1歩ずつ経験を積み、地域社会の健康に貢献出来るよう精進を重ねる所存です。感謝の気持ちを忘れず、生涯学び続ける姿勢を持ち続けます。

専門学校 東洋医療学科67期 山本 悠也

学校生活の感想・思い出や卒業後の抱負

関西医療学園専門学校での学びを終え、無事に卒業を迎えることが出来ました。

3年間の学びを通して、私は東洋医学の奥深さと、人の身体と心に向き合うことの大切さを実感しました。入学当初は知識も技術も未熟で、不安や戸惑いの連続でしたが、先生方のご指導や仲間との支え合いの中で、一步步成長することができました。実技の練習や臨床実習では、患者様一人ひとりに寄り添う姿勢の重要性を学び、鍼灸師としての責任の重さも感じました。これからはここで得た知識と経験を礎に、常に学び続ける姿勢を忘れず、多くの方の健康に貢献できる鍼灸師を目指して努力してまいります。支えてくださったすべての方々に心より感謝申し上げます。

専門学校 理学療法学科 31期 齋藤夏希

学生生活の感想・思い出や卒業後の抱負

3年間の学生生活で最も印象に残っているのは臨床実習です。急性期病院やスポーツクリニック、急性期と回復期を併せ持つ病棟など、異なる環境でリハビリテーションを経験しました。実際の患者様に関わりながら理学療法の一連の流れを学ぶ中で、学校で習得した知識や技術が思うように活かせない難しさを実感しました。一方で、患者様と信頼関係を築きつつ的確に評価・治療を行う臨床の理学療法士の方々の姿に触れ、その専門性の高さに大きな学びを得ました。実習を通して、患者様一人ひとりの性格や生活背景を尊重し寄り添う姿勢の重要性を学びました。指導者の先生からいただいた「疾患ではなく患者様を診る」という言葉を胸に、信頼される理学療法士を目指して努力していきます。



専門学校柔道整復学科57期生 同窓会開催

十年の歩みを胸に、再び未来へ

第57期卒業 今井徳郎

令和8年2月7日。卒業後十年となる同窓会が天王寺で開催された。久しぶりに顔を合わせる仲間たちは、学生時代と変わらぬ笑顔を見せながらも、それぞれの肩に積み重ねてきた年月の重みを感じさせる「男の顔」になっていた。

柔道整復師として開業し地域に根ざした治療院を構える者、介護施設を構えながら二足の草鞋を履いて活躍する者。一方様々な事情から業界を離れ、ここに来られなかった者。十年という時間は、誰にとっても平坦ではなく、成功も挫折も等しく、私たちの人生に刻まれていた。

近況報告が次々と飛び交うなか、うれしい報告があった。「自分の治療院が軌道に乗ってきた」「借金返済は大変だけどやりがいがある」その言葉の一つひとつに、十年前には想像できなかった人生の広がりがあった。

柔道整復師という仕事は、決して楽な道ではない。国家資格を取得しても、臨床の現場で壁にぶつかることは多い。患者の痛みと向き合う責任の重さ、技術の研鑽、経営の難しさ。時に迷いを感じることもあるだろう。だからこそ、同じ学び舎で過ごした仲間は、何より心強い存在だ。

業界に残っているかどうかに関わらず、私たちは同じ時間を共有し、同じ志を胸に学んだ仲間だ。柔道整復の知識や技術は、医療の現場だけでなく、人と向き合うあらゆる場面で生きてくる。進む道が違って、あの三年間で培った経験は、誰の中にも確かに息づいていた。

人生は思い通りにいかないことも多い。それでも、私たちは歩み続ける。柔道整復師として、あるいは別の道で。それぞれの場所で積み重ねた経験が、次の十年をより豊かなものにしてくれるはずだ。

次に会うとき、またそれぞれの物語を聞かせてほしいと、切に願う。

次の節目に向けて、また一歩。



専門学校理学療法学科1期生 同窓会開催

令和7年11月29日（土）、天秤棒千日前本店にて関西医療学園専門学校理学療法科1期生の同窓会を開催しました。

前回の開催からかなりの年月が経っており、「前回会ったのはいつだろう」「十数年（20年以上？）ぶりかな？」と思いながら会場へと足を運びました。

今回の参加者は12名でしたが、顔を合わせた瞬間、学生時代に戻ったかのような感じがしました。

同窓会では、近況報告や思い出など会話が弾み、昔と変わらず楽しい時間を過ごすことができました。いろいろと話が尽きず、気がつけば、あっという間に終了時刻でしたが、時間延長し会を閉じました。

次回開催はいつになるか分かりませんが、楽しい同窓会になることを楽しみにしています。

文責：川見 大作



大学バスケットボールOB/OB会と現役バスケットボール部員との交流会を開催!

2025年12月21日（日）、恒例となっている関西医療大学バスケットボール部OB・OG会と現役部員との交流会を開催しました。当日は雨天ではありましたが、厳しい寒さはなく、比較的穏やかな気候の中での開催となりました。一方で、インフルエンザの感染拡大の影響により、OBおよびそのご家族が参加を見合わせられたほか、年末の多忙な時期と重なり、急な仕事のため欠席となる方も相次ぎました。また、学生側も試験明けという事情もあり、参加人数は例年より少なく、やや残念な状況となりました。

当日は総勢8名での開催となり、和やかな雰囲気の中で交流会がスタートしました。まず自己紹介を行った後、ハーフコートを使用した3対3のゲームを、5分間ずつ休憩を挟みながら約90分間実施しました。終了後は近隣で食事をを行い、4年生の部員も合流し、世代を越えた交流の場となりました。参加したOBは全員50歳代で、エコーガイド下での鍼治療やツボの考え方など、専門的な話題でも大いに盛り上がりしました。来年も、同時期に同様の交流会を開催する予定です。

（短期大学3期 坂口俊二）



大学理学療法学科11期生 同窓会開催

2026年3月28日（土）、なんばにて大学理学療法学科11期生の同窓会を開催しました。今回の同窓会は、卒業後初めての開催であり、約5年ぶりの再会となりました。当日は23名が参加し、これだけの人数が集まるのは卒業以来初めての機会となりました。久しぶりの再会ではありましたが、緊張した様子はほとんど見られず、当時と変わらない仲の良さを感じられる温かい雰囲気の中で会がスタートしました。学生時代の思い出話や近況報告に自然と会話が広がり、あっという間に時間が過ぎていきました。それぞれが理学療法士として各現場で経験を積み、活躍している様子を共有できたことは非常に有意義でした。また、会は一次会にとどまらず、全員で二次会へ行き、時間を忘れて語り合う姿が印象的でした。久しぶりの再会を通じて、同級生同士のつながりの強さを改めて実感する機会となりました。今後もこのような機会を大切に、互いに刺激を受けながら、それぞれの臨床現場でのさらなる活躍につなげていきたいと思います。

（文責：前田翔梧）



臨床検査学科1期生 同窓会開催!

2026年4月4日（土）に熊取にて同窓会を開催しました。この日は大学で学術集会および卒業生輩出10周年記念集会も行われ久しぶりに先生や同級生、後輩と顔を合わせることができました。

同窓会では互いの近況報告や各々の職場の状況など、久しぶりに会うと積もる話がたくさんあり、あっという間に時間が経っていました。学術集会での講演会の内容をみんなで語るタイミングもあり、私自身とても勉強になりました。それと同時に大学でみんなと勉強をしていた日々を思い出し、懐かしく感じました。来年は卒業して10年が経つので節目の年として再び同窓会を開催できたらと思っています。

（文責：上野保乃花）



校友会ホームページ

下記QRコードよりホームページへお進みください。
会報誌「かんゆう」の他、学術研修会のお知らせや
最新情報をお届けしております。

<https://www.kansai-koyukai.com/>



校友会LINE公式アカウント

校友会LINEを友達追加していただくと、校友会で行っている勉強会や様々な行事、会報誌「かんゆう」についてなど最新情報をGETしていただけます。ご登録は下記QRコードを読み取っていただくだけで大丈夫です！



米寿のお祝い



池田恵子	1938年4月17日	山本博	1938年5月12日
向山好信	1938年10月26日	細田敏夫	1938年1月29日
黒川愛子	1938年8月1日	福西良之	1938年1月29日
今井照正	1938年2月5日	上田勝彦	1938年5月6日
和田克己	1938年1月23日	梶重夫	1938年9月3日
日高勝司	1938年10月28日	東山智	1938年3月31日

お礼のお手紙やお電話頂戴いたしました。

■就職に関するご相談■



専門学校を卒業の方

専門学校事務室学務課まで

【電話】鍼灸・柔整・理学療法 06-6699-2222

歯科衛生 06-6605-1234

短大・大学を卒業の方

大学キャリア支援課まで

【電話】072-453-8392（キャリア支援課直通）

【受付時間】9：00～17：00

（第二・四土曜日、日祝祭日を除く）

求人票はQRコードから作成してください↑

編集後記

『かんゆう第39号』をお読みいただき、誠にありがとうございました。今号の編集を通して、校友会の歩みを支えてこられた皆さまのつながりの深さと、世代を超えて受け継がれる思いの温かさを改めて感じました。懐かしい思い出に触れていただくと同時に、現在の活動やこれからの歩みにも関心をお寄せいただけましたら幸いです。ご寄稿やご協力を賜りました皆さまに心より御礼申し上げます。今後とも関西医療学園専門学校校友会、関西医療大学校友会への変わらぬご支援、ご参加をよろしくお願い申し上げます。

関西医療学園専門学校校友会 理学療法部会

広報担当理事 長谷川 治